

工事店様用

# ZMPPS エコめがね

全量買取向け

## モバイルパック PS

〔太陽光発電 遠隔モニタリングサービス〕

## 施工・取扱説明書 Ver1.1

この施工・取扱説明書は、以下の商品の施工・取扱方法について説明しています。  
「エコめがね全量10年プラン モバイルパック PS」  
(以下、本製品と記す)

はじめにこの施工・取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ、正しく安全にご使用ください。

- 施工に際して記載内容を守ってください。
- 施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

# 目次

目次 .....	2
安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意 .....	3
施工・設定の流れ .....	7
本製品について .....	8

## 施工手順

部材・機器の準備 .....	17
施工にあたってご準備いただくもの .....	18
システムの配線について .....	20
パワーコンディショナの配線・設定 .....	21
本体を設置する .....	22
電源ケーブル・接地線の配線 .....	23
通信ケーブル・制御通信ケーブルの配線 .....	24
接続台数・通信方式の設定 .....	26
終端抵抗設定を行う .....	27
電源の起動 .....	29
設定用 PC の準備 .....	32
電力検出ユニットの設定 .....	34
SV センサ初期設定前の確認 .....	35
SV センサ初期設定～設定ツール(ブラウザ版)～ .....	36
SV センサ動作確認～設定ツール(ブラウザ版)～ .....	41
SV センサ初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)～ .....	44
SV センサ動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)～ .....	49
設定用 PC の取り外し .....	52

## 取扱方法

SV センサ設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)～ .....	53
SV センサ設定確認・編集～設定ツール(ソフトウェア版)～ .....	55
SV センサ動作確認～設定ツール(ブラウザ版)～ .....	56
SV センサ動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)～ .....	58
パワーコンディショナを交換・追加する .....	59
ファームウェアを更新する .....	60
電力検出ユニットを交換する .....	63
本体を取り外す .....	65

## その他

設定ツール画面 こんな時には? .....	66
電力会社への申請書式 .....	74

# 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

## 安全区分/図記号について

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。



### 危険

正しい扱いをしなければ、この危険のために、時に死亡に至ったり、重傷を負ったりする場合も起こり得ます。また、同様に深刻な物的損害※を受けるおそれがあります。



### 警告

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至ったりするおそれがあります。また、同様に重大な物的損害※を受けるおそれがあります。



### 注意

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けたりするおそれがあります。

※物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明します。

	●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告

## 危険

	周囲に発火性、腐食性のガスがある場所、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 爆発、火災、感電のおそれがあります。
	本装置の隙間などから、異物(金属片、可燃物、液体等)が内部に入らないようにしてください。 火災や感電のおそれがあります。
	既定の電源電圧でご使用ください。 規定外の電源電圧を供給されますと火災や感電の原因となります。

## 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

### 警告

	<p><b>本装置は、幼児の手の届かないところに設置してください。</b></p> <p>感電による傷害が起こる可能性があります。</p>
	<p><b>本装置にぬれた手で触れないでください。</b></p> <p>感電による傷害や機器故障のおそれがあります。</p>
	<p><b>本装置を分解・改造しないでください。</b></p> <p>感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。</p>
	<p><b>本装置の設置・施工の際は、太陽光発電システムの全ての開閉器・系統電源及び本装置の主電源を必ずオフにしてください。</b></p> <p>感電による傷害が起こるおそれがあります。</p>
	<p><b>サーキットプロテクタは、線間電圧による感電の保護はできません。</b></p> <p>各電線を同時に触れると感電し、漏電遮断動作はしません。</p>
	<p><b>通電中は、顔や手を近づけたり、触れたりしないでください。</b></p> <p>高電圧になる部品や高温になる部品があります。</p> <p>感電や火傷のおそれがあります。</p>
	<p><b>本装置の取り付けは、十分な強度のある壁面の平坦な面に確実に固定してください。</b></p> <p>落下し、機器の故障やけがの原因となるおそれがあります。</p>
	<p><b>病院などの医療機関内や医療用機器（心臓ペースメーカーなど）のある場所に設置しないでください。</b></p> <p>電波障害により医療用機器に影響を及ぼす可能性があり、事故の原因になります。</p>
	<p><b>自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。</b></p> <p>本装置からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。</p>

### 注意

	<p><b>本装置の設置は電気設備技術基準、内線規程に従い、第1種または第2種電気工事士が行ってください。</b></p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p><b>サーキットプロテクタの端子ネジは標準締付トルクで確実に締付けてください。</b></p> <p>発熱・発火の原因になります。5年に1回程度、端子ネジの増締めをお願いします。</p>
	<p><b>本装置を、湿気が多い場所(洗面所、脱衣所、作業場、調理場など)に設置・保管はしないでください。</b></p> <p>また、装置内部に水や液状のもの、導電性の塵が入った状態で使用すると非常に危険です。</p> <p>漏電・感電・焼損のおそれがあります。</p>
	<p><b>プラボックスの扉を確実に閉めてご使用ください。</b></p> <p>雨水などの侵入により内部機器を故障させるおそれや、風などによる扉の破損、脱落の原因になります。</p>
	<p><b>設置・施工時以外は、プラボックスの扉に鍵をかけてください。</b></p> <p>設備管理者の意図しない方が本装置を操作すると、感電・火災につながるおそれがあります。</p>
	<p><b>穴加工およびノックアウト加工をする際は、突起やバリをやすりなどで確実に除去してください。</b></p> <p>配線を傷つけたり、けがの原因となったりします。</p>

# ⚠ 注意(つづき)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置の清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。</li> <li>● 有機溶剤（シンナー、ベンジン等）など揮発性のものや、強アルカリ性物質、および強酸性物質や薬品を使用しないでください。</li> </ul> <p>ケースの変色や機器故障のおそれがあります。</p>
	<p><b>極端な高温下や低温下、または温度変化の激しい場所での使用および保管はしないでください。</b></p> <p>例 ・ 直射日光の当たる場所 ・ 熱源の近く</p>
	<p><b>本装置を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置・保管（輸送を含む）しないでください。</b></p> <p>落下により怪我をしたり、機器故障したりするおそれがあります。</p>
	<p><b>必ずアース(接地)を行ってください。</b></p> <p>設備異常で漏電が発生した場合、感電のおそれがあります。</p>
	<p><b>強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用、保管は避けてください。</b></p> <p>まれに誤動作(停止、リブート)や部品の故障を招くおそれがあります。</p>
	<p><b>本装置内のコネクタ等には触らないでください。</b></p> <p>コネクタの接合部に無理な力がかかると機器の破損や接続不良の原因となります。</p>
	<p><b>過電流や過電圧(雷サージ等)の影響を受けるような場所で使用する際には、すべての進入経路(電源線、LAN、アースなど)に対し適切なサージ保護デバイス(SPD)を選定し使用してください。SPDの選定/導入/設置については、専門の業者で行ってください。</b></p> <p>本装置の故障、焼損のおそれがあります。</p>
	<p><b>本装置をつないだ状態でパワーコンディショナのメンテナンスツールは使用しないでください。本装置が故障するおそれがあります。</b></p> <p>※ メンテナンスツールとは、設定・保守時にパワーコンディショナの通信端子と接続して、パワーコンディショナから情報を取得する装置・手段を指します。</p> <p>※ やむをえずメンテナンスツールを使用される場合は、本装置の端子台にねじ止めされている通信線を外してからご使用ください。ご使用後は通信線を元に戻してください。</p>
	<p><b>動作中に本装置内の金属部や端子部、アンテナに手を触れないでください。</b></p> <p>誤動作、故障の原因になります。</p>
	<p><b>付属以外のアンテナを接続しないでください。</b></p> <p>電波法で禁止されています。</p>
	<p><b>周囲温度が45℃を超えた場合、本装置内の金属部分に手を触れないでください。</b></p> <p>操作中に火傷をする可能性があります。</p>
	<p><b>信号線と電力線は並走させないでください。</b></p> <p>各種信号線（パワコン、リモコンとの通信線）は、電力線から離して施工してください。</p> <p>誤動作の原因になります。</p>

# 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

## 安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- 本装置を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 本装置を廃棄する場合は、専門業者に依頼してください。
- 本装置に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、本装置の主電源（ブレーカ）をオフにしてください。
- 本装置は、垂直な壁、もしくは架台に確実に固定してください。
- 本装置を押入や階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。
- サーキットプロテクタへの配線は、圧着端子（M4）を使用してください。

## 使用上の注意

- 本装置は、NTTドコモ LTEサービスエリア内でご使用ください。  
LTEサービスエリアは以下のサイトでご確認いただけます。  
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/>
- 本装置は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本装置は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。目安としてご利用ください。なお、発電量などの数値の表示精度はパワーコンディショナの性能に依存します。接続するパワーコンディショナの製品仕様書を確認してください。
- 出力制御設定を行った際は、パワーコンディショナ、電力検出ユニットの動作が正しく行われることを確認してください。正常に動作していない場合、出力制御が正しく行われず発電が停止する可能性があります。
- 本装置を接続対象機種のパワーコンディショナ以外に接続しないでください。対象外のパワーコンディショナを接続されますと機器故障のおそれがあります。  
接続対象機種に関しては以下のサイトでご確認いただけます。  
[https://www.eco-megane.jp/zmpps\\_pcs/](https://www.eco-megane.jp/zmpps_pcs/)
- 本装置を以下のような場所で使用しないでください。
  - 塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
  - 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、電話機・FAX・PC・PC周辺機器・テレビ・電子レンジ・IH製品の近く
- 薬品が発散している空気中や、薬品にふれる場所での使用および保管は避けてください。
- 本製品を次のような場所に設置しないでください。
  - 温度変化が激しいところ
  - 潮風にさらされるところ
  - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
  - 浴室、脱衣所、台所等の水蒸気、油蒸気、結露のあるところ
  - 直射日光の当たるところ
  - 虫や小動物が多いところ
  - 使用温度範囲以外のところ
  - 使用湿度範囲以外のところ
  - 標高2000mを超えるところ
  - 汚染度3<sup>\*</sup>以上のところ

※汚染度3：導電性の汚染が発生する、または予想される結露のために導電性となる乾燥した非導電性の汚染が発生するところ
- ケーブル（本装置内部のケーブル、施工により取り付ける電源ケーブル、通信ケーブルなど）を強く引っ張らないでください。
- 各コネクタ、ケーブルの脱着の際には、必ず本装置の主電源（ブレーカ）をオフにして、SVセンサ本体のLEDが消灯した状態にしてください。
- パワーコンディショナ-SVセンサ間通信ケーブルは正しく接続してください。
- パワーコンディショナ-SVセンサ間通信ケーブルについては弊社オプション販売品、もしくは弊社ホームページに掲載の「パワーコンディショナ - SVセンサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考にご準備をお願いいたします。
- パワーコンディショナを複数台接続する場合は、同一シリーズのみで接続してください。
- 複数台接続時のパワコン間通信ケーブルは正しく接続してください。

# 施工・設定の流れ

システム配線について確認します (P.20)



パワーコンディショナの配線・設定を行います(P.21)

- パワーコンディショナの配線
- パワーコンディショナの局番設定
- パワーコンディショナの通信設定

必ず各パワーコンディショナの局番と終端抵抗・通信方式の設定を行ってください。



モバイルパック PS 本体を設置します (P.22)



電源ケーブル・接地線をモバイルパック PS に配線します (P.23)



通信ケーブル・制御通信ケーブルの配線・接続を行います(P.24)



接続台数・通信方式の設定を行います(P.26)



終端抵抗の設定を行います(P.27)



電力検出ユニットの設定を行います(P.34)



SVセンサの初期設定を行います (P.35)

ご利用される設定ツールにより、手順が異なります。

【設定ツール(ブラウザ版)】

- 初期設定(P.36)
- SVセンサの動作確認(P.41)

【設定ツール(ソフトウェア版)】

- 初期設定(P.44)
- SVセンサの動作確認(P.49)



初期設定の完了

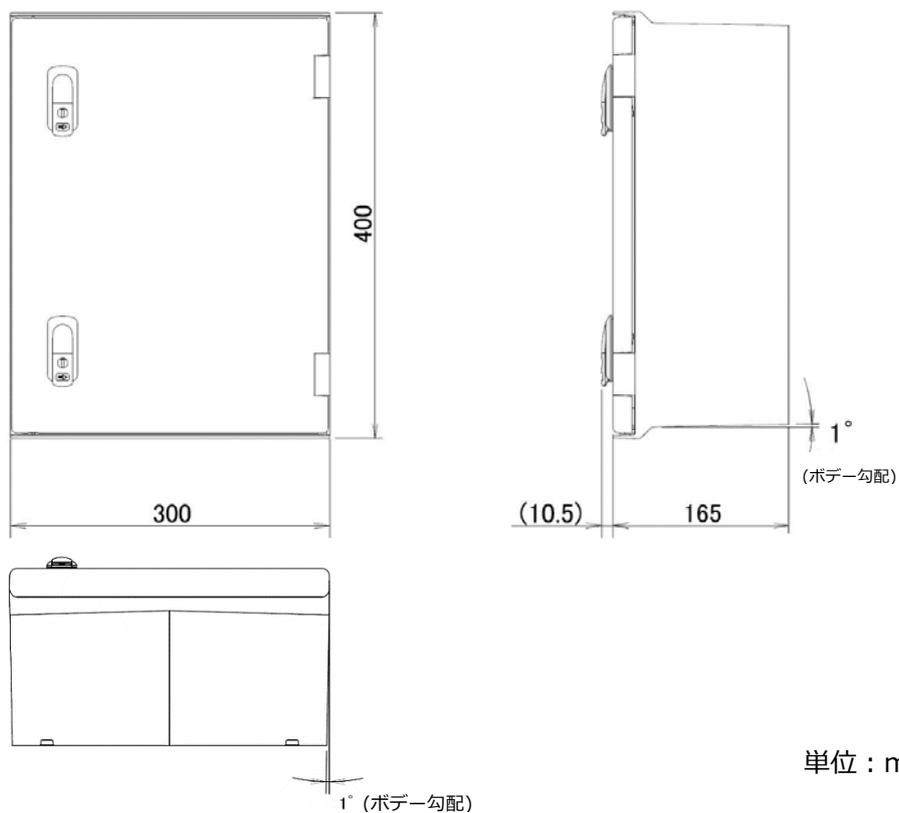
# 本製品について

## ● 仕様

項目	仕様	
■ 型式	ZMPPS	
■ 使用周囲温度	-10 ~ +50 °C (ただし結露または氷結しないこと)	
■ 保存温度	-20 ~ +60 °C (ただし結露または氷結しないこと)	
■ 使用周囲湿度	相対湿度 20 ~ 85 % (ただし結露しないこと)	
■ 保存湿度	相対湿度 20 ~ 85 % (ただし結露しないこと)	
■ 電源	単相 3 線式 AC100V	
■ 消費電力 [W]	電源ユニット	最大 6.5W
	電力検出ユニット	最大 3W
	合計	最大 9.5W
■ 入力容量 [VA]	電源ユニット	最大 13.1VA
	電力検出ユニット	最大 5VA
	合計	最大 18.1VA
■ 保護構造	IP65 相当 ※施工状態によって、IP 等級は変化します。	
■ 質量	6.0kg 以下	
■ 外形寸法	突起部除く 幅 300×奥行 165×高さ 400 mm (突起部含む 幅 300×奥行 175.5×高さ 400 mm)	

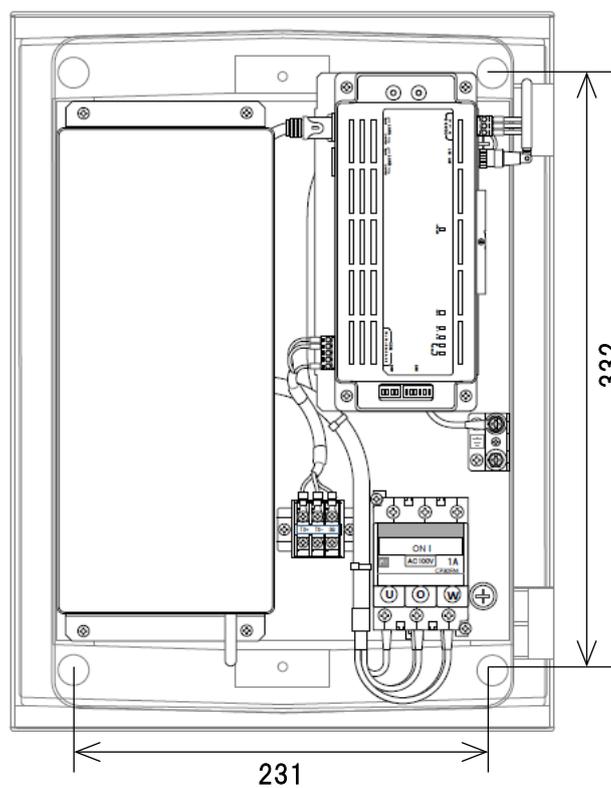
# 本製品について(つづき)

## ● 本体の外形寸法



単位 : mm

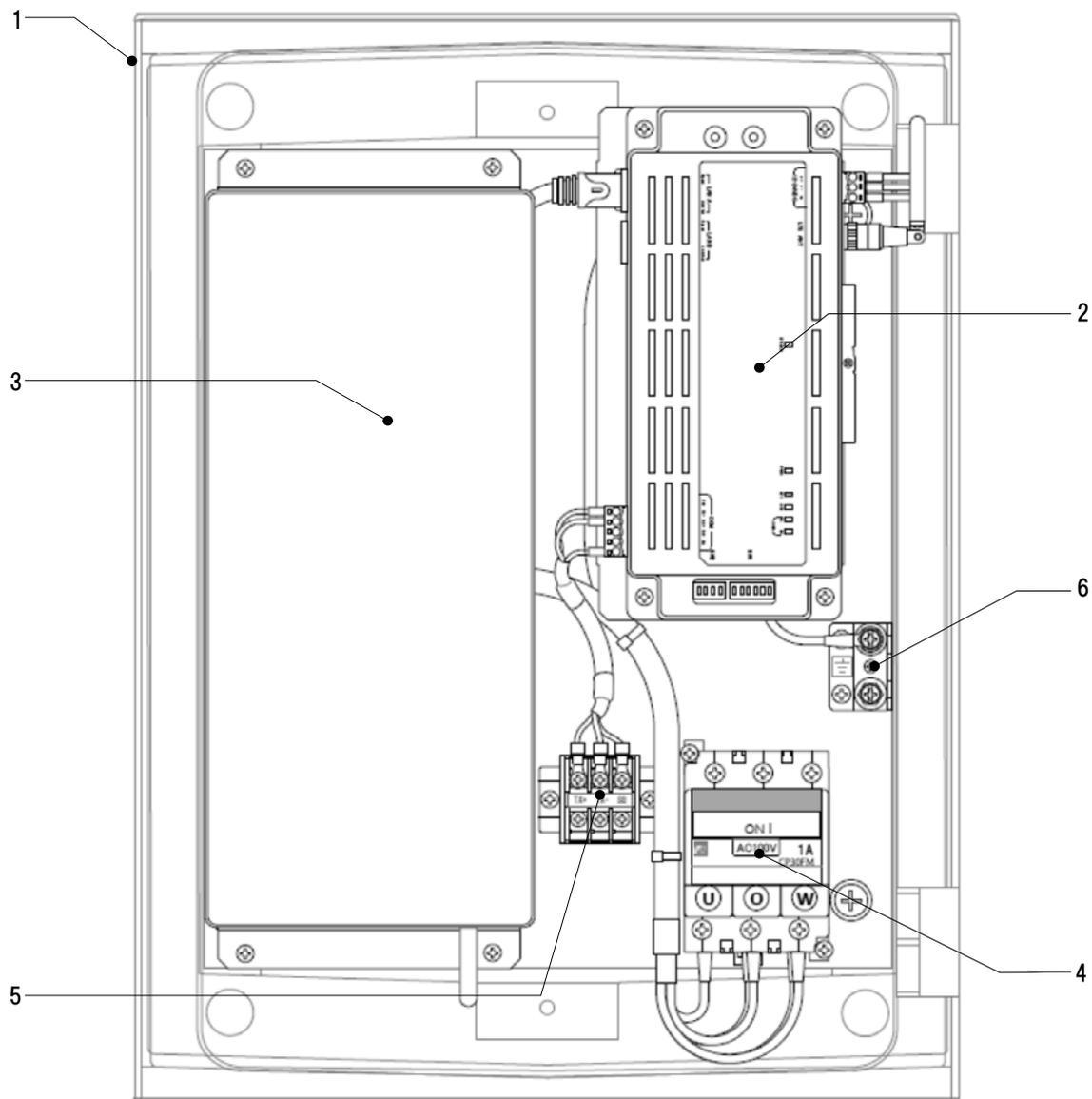
## ● 本体取付穴位置



単位 : mm

## 本製品について(つづき)

### ● 搭載機器名称

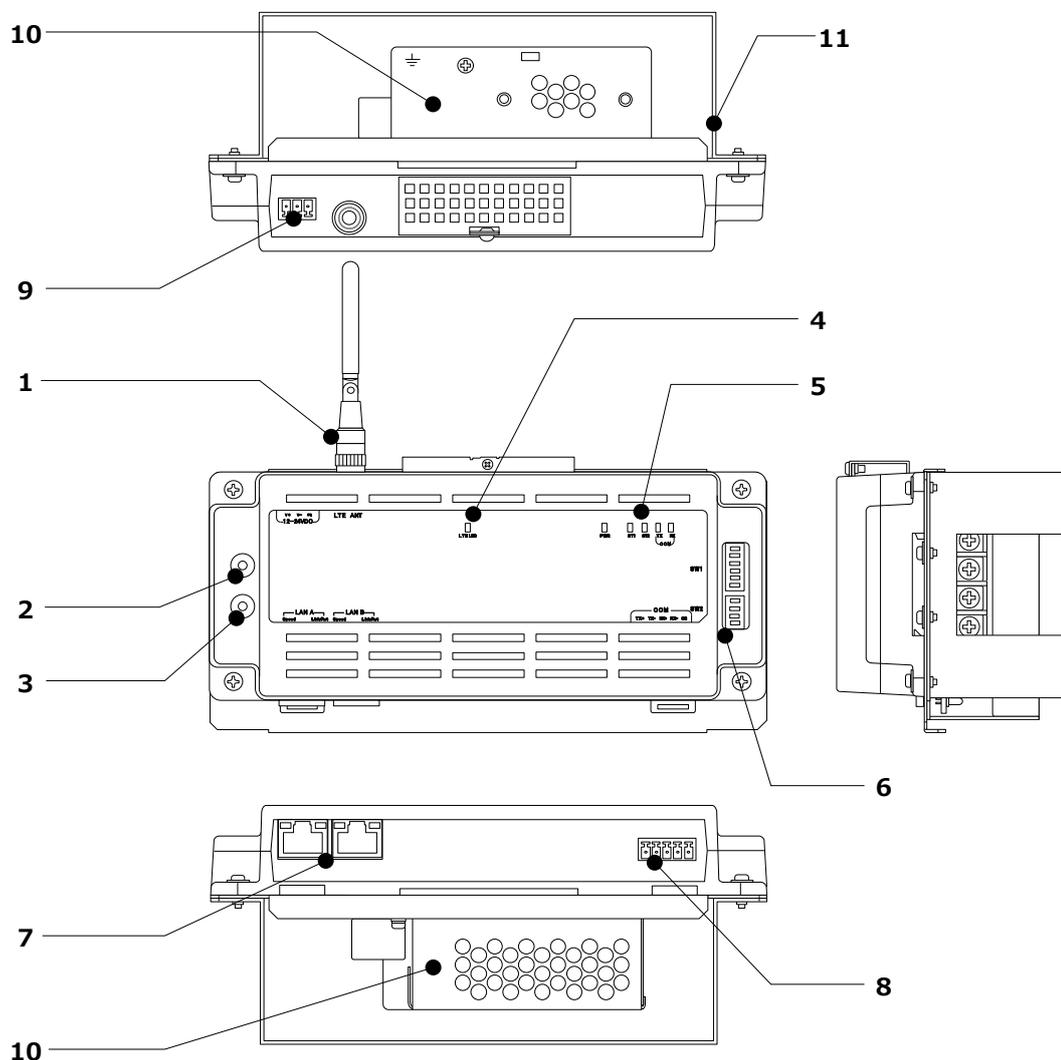


番号	名称	機能
1	プラボックス	保護等級：IP65 相当
2	SV センサユニット	パワーコンディショナから情報を取得し、サーバと通信を行います
3	電力検出ユニット	パワーコンディショナから情報を取得し、出力の制御を行います
4	サーキットプロテクタ	搭載機器の保護用電源ケーブルを接続します
5	通信線用端子台	パワーコンディショナの通信線と SV センサを接続します
6	アース端子	接地線接続用 (D 種接地)

# 本製品について(つづき)

## ● 各機器の詳細

### ■ SVセンサユニット



#### 1 アンテナ

LTE網とデータ通信をおこなうアンテナです。

#### 2 RESETスイッチ

SVセンサを再起動します。

#### 3 SHUTDOWNスイッチ

(本製品では使用しません。)

※長押しした場合、SVセンサがLEDランプ点灯したままシャットダウンします。自動復帰はしませんので、誤って押した場合はRESETスイッチを押下して再起動してください。

#### 4 LTE LED通信ランプ

LTE電波状況を表示します。

※詳細は次頁に記載

#### 5 表示LED通信ランプ

SVセンサの動作状況を表示します。

※詳細は次頁に記載

#### 6 設定スイッチ(DIPスイッチ※以降DIP-SWと記す)

RS通信モード設定、終端抵抗設定を行います。

※詳細は次頁に記載

#### 7 LANコネクタ

電力検出ユニットとLANケーブルで接続します。

また、設定時にPCとLANケーブルで接続します。

#### 8 RS485コネクタ

パワーコンディショナからの信号線を接続します。

※施工では、本コネクタに対して作業は行いません。

#### 9 電源コネクタ

電源ユニットからの電力の供給を受けます。

#### 10 電源ユニット

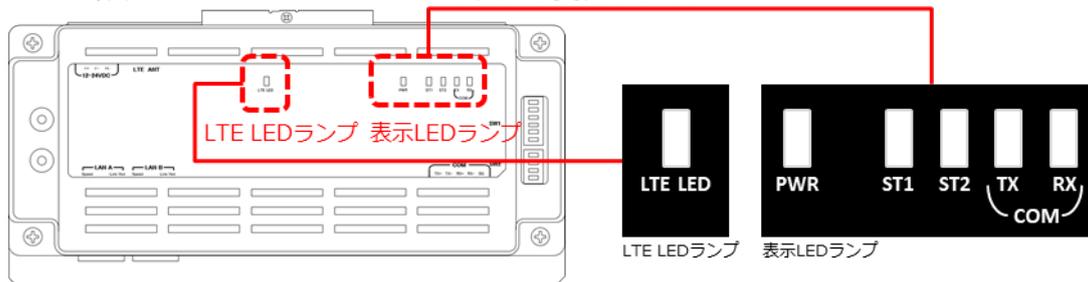
SVセンサへ電源を供給します。

#### 11 ベース

# 本製品について(つづき)

## ■ SV センサの表示 LED ランプについて

SV センサの動作状況に応じて、LED ランプの表示は変化します。



### ●LTE 電波強度ランプ一覧

ランプ名	表示	電波強度
LTE	緑点灯	電波レベル 4 (強)
	緑点滅	電波レベル 3
	赤点灯	電波レベル 2
	赤点滅	電波レベル 1
	消灯	電波レベル 0 (弱)

### ●表示 LED ランプ一覧

ランプ名	表示	状態
PWR	緑点灯	電源 ON
	緑点滅	起動時のデータ破損チェックで問題を検出 ※1
	消灯	電源 OFF
ST1	緑点滅	計測中、もしくはファームウェアアップデート ※2
	緑点灯	計測時間外
	消灯	未設定
ST2	消灯	正常動作
	赤点滅	ファームウェアアップデート ※2
	赤点灯	サーバ通信異常
TX・RX	黄点滅	パワーコンディショナと通信中 ※3
	消灯	パワーコンディショナとの通信なし

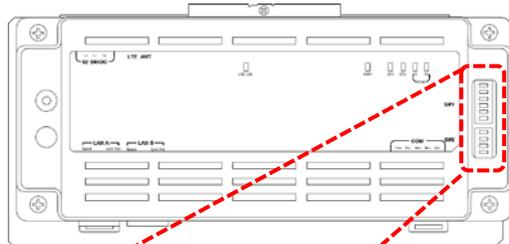
※1：緑点滅の場合は「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。

※2：アップデート時、ST1・ST2 は同時点滅

※3：接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります。

## ■ 設定スイッチ(DIP-SW)の機能について

DIP-SW の機能は下記の通りです。(SW の状態を白の四角で表しています。)

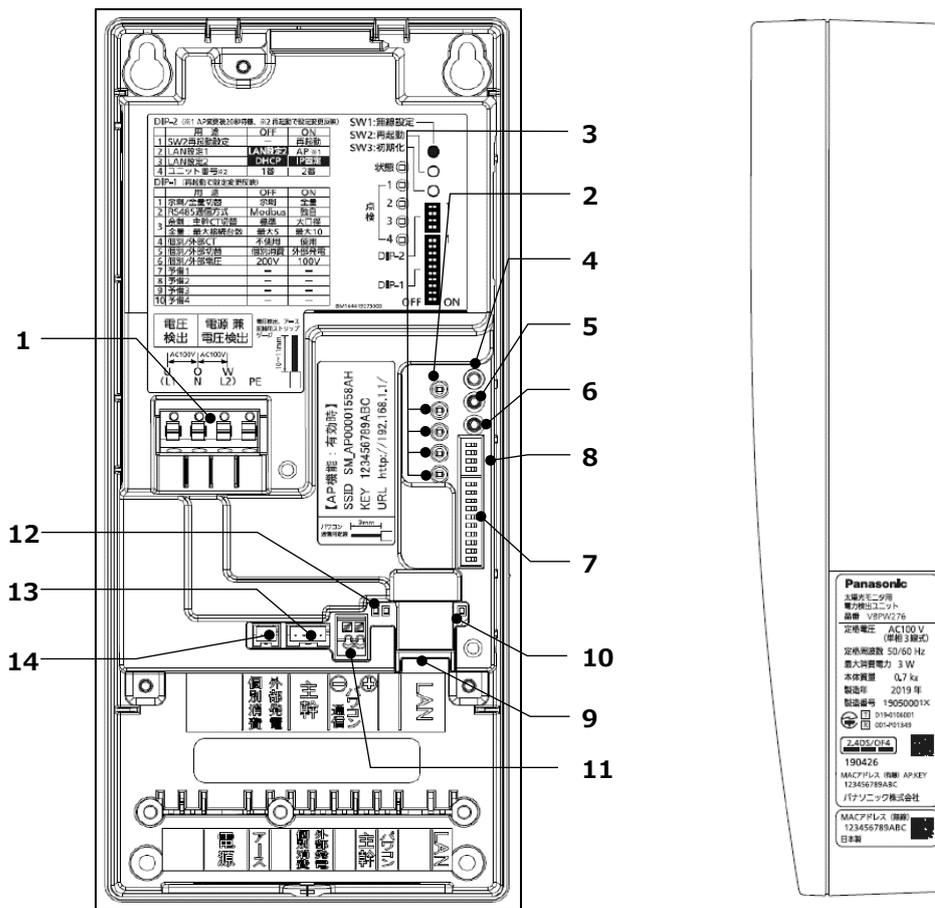


### ●設定スイッチ (DIP-SW) 一覧

DIP-SW	No	機能	概要
上段の DIP-SW1	6	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	5	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	4	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	3	センサ設定	常時 ON でご使用ください
	2	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	1	RS 通信モード	常時 ON でご使用ください
下段の DIP-SW2	4	TX- /RX- 状態	常時 ON でご使用ください
	3	TX+ /RX+ 状態	常時 ON でご使用ください
	2	RX 終端抵抗	ON : 終端抵抗有効 OFF : 終端抵抗無効
	1	TX 終端抵抗	ON : 終端抵抗有効 OFF : 終端抵抗無効

# 本製品について(つづき)

## ■ 電力検出ユニット (型式 : VBPW276)



(フタを取り外し、配線固定金具を取り付けていない状態です。)

### 1 電源端子

サーキットプロテクタからの電力供給を受けます。

### 2 状態表示用LED

電力検出ユニットの動作状態を表示します。

※詳細は次項に記載

### 3 点検表示用LED (4個)

点検表示用LED 1～4の点灯状態により、点検コードを表します。

※詳細は次項に記載

### 4 SW1 : 無線設定用スイッチ

本施工では使用しません。

### 5 SW2 : 再起動スイッチ

DIP-2の1番「SW2 再起動設定」をON(再起動)にすることで、再起動スイッチとして使用できます。スイッチを押すと電力検出ユニットが再起動します。

### 6 SW3 : LAN設定初期化スイッチ

本施工では使用しません。

### 7 DIP-1 スイッチ(※以降DIP-1と記す)

電力検出ユニットの設定に使用します。

### 8 DIP-2 スイッチ(※以降DIP-2と記す)

電力検出ユニットの設定に使用します。

### 9 有線LANコネクタ

SVセンサとLANケーブルで接続します。

### 10 有線LAN通信確認用LED

通信機器とLANケーブルで接続している場合、点灯または点滅します。

### 11 パワコン通信端子

パワーコンディショナからの制御通信線を接続します。

### 12 パワコン通信確認用LED (2個)

パワーコンディショナと通信している場合、LEDが点滅します。

### 13 主幹電流検出用コネクタ

本施工では使用しません。

### 14 個別消費/外部発電コネクタ

本施工では使用しません。

# 本製品について(つづき)

## ■ 電力検出ユニットの状態表示 LED について

電力検出の動作状況に応じて、LED ランプの表示は変化します。

### ● 状態表示用 LED 一覧

状態 LED	点灯状態	動作状態
赤	点灯	—
	点滅	ファームウェア更新中 (自動的に緑点灯に戻る)
緑	点灯	通常
	点滅	起動中/パワーコンディショナ接続台数表示中 遠隔出力制御による出力制御中：約 2 秒間隔で点滅 (自動的に緑点灯に戻る) ※1
橙	点灯	ファームウェア更新完了 (自動的に緑点灯に戻る)
	点滅	パワーコンディショナ接続台数判定中/表示中 (自動的に緑点灯に戻る)
消灯 ※2		無通電

・起動後、約 2 分間はパワーコンディショナの接続台数判定表示を行います。

※1：日射が十分でない場合など、出力制御が不要な場合には点滅しません。

※2：電力検出ユニットに電源を入れてから数秒間は消灯しています。

### ● 点検表示用 LED 一覧

点検 1 ①  
2 ②  
3 ③  
4 ④

本体内部の点検 LED 表示を確認してください。

☉：点灯    ☉：点滅    ●：消灯

点検コード	点検表示用 LED (赤色)				内容	確認事項
	1	2	3	4		
0	●	●	●	●	点検コード無し	異常ありません
1	☉	●	●	●	外部 ROM 異常	※3
2	●	☉	●	●	無線モジュール異常	※4
11	☉	☉	●	☉	ルータ通信異常	※4
12	●	●	☉	☉	自アドレス重複異常	出力制御指示を出す機器が RS-485 通信線上に複数台接続されています。他の機器または本機を外してください。
13	☉	●	☉	☉	更新スケジュール未取得警告	新しい更新スケジュールが取得できません。 ※4
	☉	●	☉	☉	固定スケジュール残日数警告	固定スケジュールの残日数が 30 日以下です。 ※4,5
	☉	●	☉	☉	スケジュール異常	更新・固定スケジュールがありません。 パワーコンディショナが停止します。 ※4,5
15	☉	☉	☉	☉	時刻未設定	モニターまたはパソコンを接続して年月日、日時の設定を行ってください。 出力制御機能が有効の場合、パワーコンディショナが停止します。

※3：電力検出ユニットへの電源をいったん OFF (切) にした後、電力検出ユニットの緑色の LED (状態表示用 LED) が消灯したことを確認してから、再度 ON (入) にしてください。

※4：LAN ケーブルの接続、通信設定および SV センサの動作状態を確認してください。

更新スケジュール未取得警告は、一度も更新スケジュールを設定していない場合には表示されません。

※5：インターネットを利用できない場合、固定スケジュールを手動で設定することになります。

# 本製品について(つづき)

## ■ 電力検出ユニットの DIP スイッチについて

DIP-1 と、DIP-2 の 4 番の切り替えは、電力検出ユニットの電源を切った状態で行ってください。  
電力検出ユニットの電源を入れた状態でスイッチを切り替えた場合は再起動を行ってください。  
スイッチの切り替えだけでは設定は変更出来ません。DIP-2 の 1~3 番は切り替え後、再起動は不要です。

### ●DIP-1 スイッチ

番号	用途	OFF	ON	弊社出荷時設定
1	余剰/全量切替	余剰	全量	ON
2	RS485 通信方式	Modbus	独自	ON
3	(DIP-1 の 1 番が OFF) 余剰：主幹 CT 切替	標準 (内径 16mm)	大口徑 (内径 24mm)	OFF
	(DIP-1 の 1 番が ON かつ、 DIP-1 の 2 番が ON) 全量：最大接続台数	最大 5	最大 10	
4	個別/外部 CT	不使用	使用	OFF
5	個別/外部切替	個別消費	外部発電	OFF
6	個別/外部電圧	200V	100V	OFF
7	予備 1	—	—	OFF
8	予備 2	—	—	OFF
9	予備 3	—	—	OFF
10	予備 4	—	—	OFF

### ●DIP-2 スイッチ

番号	用途	OFF	ON	弊社出荷時設定
1	SW2 再起動設定	—	再起動	OFF
2	LAN 設定 1	LAN 設定 2 有効	AP 機能有効	OFF
3	LAN 設定 2	DHCP	IP 固定	ON
4	ユニット番号	1 番	2 番	OFF

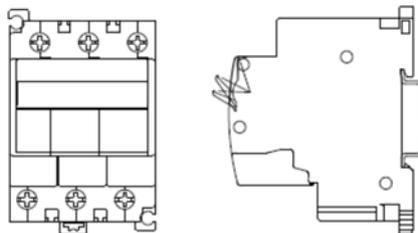
#### LAN 設定の組合せ

LAN 設定 1 DIP-2-2	LAN 設定 2 DIP-2-3	IP アドレス設定	AP 機能	備考
OFF	OFF	DHCP クライアント	無効	・ルータありでの運用
OFF	ON	固定 IP	無効	・有線 LAN 直結運用 ・無線 LAN 直結不可
ON	ON/OFF	DHCP サーバ	有効	・ルータなしでの運用

## 本製品について(つづき)

---

### ■ サーキットプロテクタ



型式	CP30FM-3P001
極数	3P
定格電流	1A
引外し方式	流体電磁式
動作特性	中速形
端子構造	M4 (圧着端子・電線直付兼用)
端子トルク	1.2~1.5 N・m

## 施工手順

# 部材・機器の準備

### ● 同梱品の確認

施工の前に、以下の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

名称	数量
モバイルパック PS	1 台
パワコン変換ケーブルセット	1 セット
簡易スタートガイド	A4 サイズ 1 部
商品登録シート	A4 サイズ 1 部
施工・設定簡易マニュアル	A2 サイズ(折り畳み) 1 枚
安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意	A3 サイズ(折り畳み) 1 枚
ネジキャップ	4 個
キー (No.200)	1 本
矢印ラベル (使用しません)	2 枚
「塩害オプション」をご契約の皆様へ	1 枚
防水キャップ	2 個 ※1
太陽光モニタ用電力検出ユニットの標準同梱物一式	
配線固定金具	1 個
プッシング	1 個
丸木ネジ (4.1 x 25)	4 個
タッピングネジ (4 x 10)	3 本
主幹電流検出用ケーブル (CT 用) 1.5m	1 本
主幹電流センサ	2 個
取扱説明書	1 部
表示設定ガイド	1 部
パソコン接続ガイド	1 部
施工説明書	1 部

※1 塩害オプションをご契約の場合のみ、防水キャップが同梱されます。

### 機器類

#### ●モバイルバック PS

本製品。施工・取扱説明書に従い、発電所に設置いただく機器です。

#### ●SV センサ設定用端末

本製品を設置する際、「SV センサ設定ツール(4G)」を使用した設定作業が必要となります。以下のいずれかをご準備下さい。

- ・設置現場で Web 接続可能な情報端末(PC、スマートフォン、タブレット端末等)
- ・最新版の「SV センサ設定ツール(4G)」をインストールした Windows PC

#### 【注意】

Windows PC をご準備いただくにあたって、以下にご注意願います。

- ・“(4G)”と記載のない「SV センサ設定ツール」は、本製品には使用できません。
- ・「SV センサ設定ツール(4G)」が最新版でない場合、パワーコンディショナが本製品の対応型式であっても設定が行えないことがあります。
- ・Windows PC の性能(SV センサツールの利用環境)の確認や最新版の「SV センサ設定ツール(4G)」の入手については、エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページを確認してください。  
<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

#### ●設定用 PC

電力検出ユニットの設定に必要です。(メーカ動作確認ブラウザ：Microsoft Edge(Windows10))  
(SV センサ設定用端末として Windows PC を使用する際は、別途用意は不要です。)

#### ●LAN ケーブル

SV センサ・電力検出ユニット設定時に SV センサと設定用 PC を LAN ケーブルで接続する必要があります。カテゴリ 5 以上のものをご準備ください。

### マニュアル

#### ●モバイルバック PS 施工・取扱説明書(本書)

本製品の施工・設定・取扱に関する説明を記載しております。  
エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページよりダウンロードしてください。  
<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

#### ●モバイルバック PS 施工・設定簡易マニュアル

本製品の施工・設定方法につきまして、簡易的に記載したマニュアルです。  
本製品に同梱されています。

#### ●パワーコンディショナ、周辺機器の施工マニュアル

本製品の設定にあたって、パワーコンディショナや周辺機器の設定を変更する必要があります。  
設置されるパワーコンディショナや周辺機器の施工マニュアルをご準備ください。

#### ●パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル

ご利用にあたり、パワーコンディショナと本製品の SV センサ間の通信用ケーブルをご準備いただく必要があります。ご使用のパワーコンディショナに応じて、エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページより加工マニュアルをダウンロードしてください。  
<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

#### ●パワコン変換ケーブルセット施工説明書

電力検出ユニットとパワーコンディショナを接続する制御通信ケーブルの作成・施工方法を記載したマニュアルです。  
本製品に同梱されています。

#### ●太陽光モニタ用電力検出ユニット施工説明書・取扱説明書

本製品に内包されている電力検出ユニットの施工・設定・取扱に関する説明を記載しております。  
本製品に同梱されています。

### 部材類

- **パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル**  
パワーコンディショナ毎に入手、作成いただく必要があります。詳しくは弊社のエコめがね 販売会社さま向けダウンロードページより、「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」をダウンロードし、内容を確認してください。  
<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>
- **パワーコンディショナ間通信ケーブル**  
パワーコンディショナを複数台設置する場合は、パワーコンディショナ間をケーブルでつなぐ必要があります。詳しくはパワーコンディショナの施工取扱説明書を確認してください。
- **制御通信用ケーブル (FCPEV Φ0.9-1P)**  
電力検出ユニット-パワーコンディショナ間を接続するケーブルを作成する際に必要です。
- **電源ケーブル**  
本製品への電源供給の為、電源ケーブルが必要です。
- **接地用ケーブル**  
機器接地用にケーブルが必要です。
- **PF 管**  
プラボックス内部への電源ケーブル、通信ケーブル通線用に 2 本以上ご準備ください。
- **防水性のある PF 管コネクタ**  
防水性のある IPX5 以上のコネクタを推奨します。プラボックス内部内への電源ケーブル、通信ケーブル通線用に 2 個以上ご準備ください。
- **圧着端子**  
電源ケーブルや SV センサ-パワーコンディショナ間通信ケーブルを作成するために使用します。  
本製品の施工で最低限必要となる圧着端子サイズは以下となります。  
電源線(サーキットプロテクタ側) : M4 サイズ  
接地線(アース端子側) : M5 サイズ  
通信線(端子台側) : M3.5 サイズ
- **結束バンド**  
本製品への配線施工完了後、各種ケーブルを結束するために使用します。
- **コーキング材**  
本製品への配線施工完了後、プラボックスの取付穴の隙間部分を埋めるために使用します。
- **穴埋め用パテ**  
本製品への配線施工完了後、PF 管コネクタの隙間部分を埋めるために使用します。

### 工具

- **モバイルパック PS プラボックス穴あけ加工用工具**
- **ドライバー**
- **トルクドライバ**
- **圧着工具**
- **ニッパー**
- **セラミックドライバー等**  
SV センサ・電力検出ユニットのディップスイッチ操作に使用します。電気を通さない、先の細い工具を準備してください。

# システムの配線について

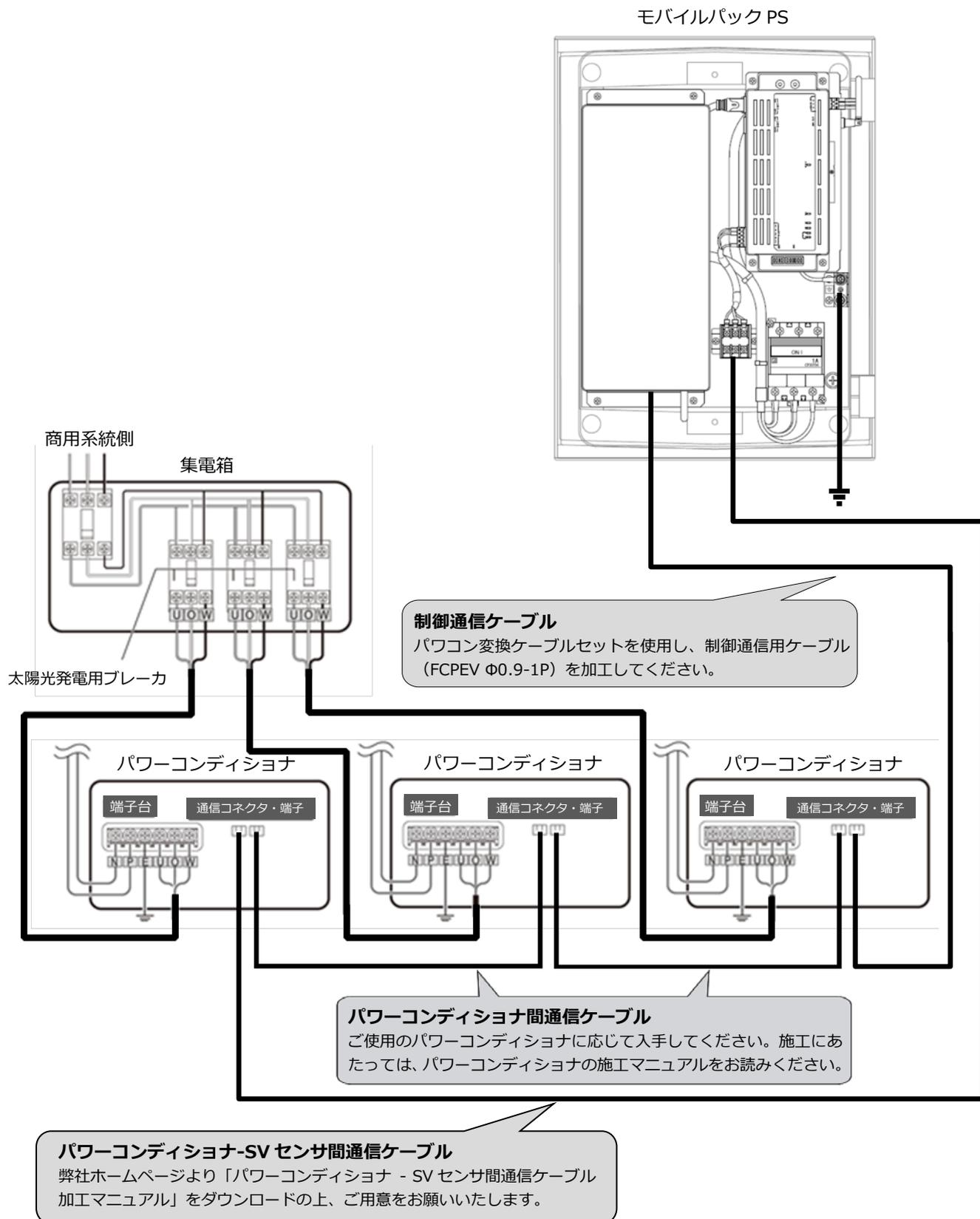
施工手順

モバイルパック PS は、**9 台までのパワーコンディショナの発電量を取得することが可能**です。

※ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合はその仕様に従います。

以下にパワーコンディショナを 3 台接続する場合のシステムの配線を示します。

(機器のイラストはイメージ図です)



## ● はじめに

ご使用されるパワーコンディショナにより、設定方法や通信ケーブルの配線方法が異なります。必ずパワーコンディショナの施工マニュアルを確認してから、配線・設定作業を行ってください。

### 1 パワーコンディショナを設置する

パワーコンディショナの施工マニュアルに従って、パワーコンディショナの設置施工を行ってください。

### 2 パワーコンディショナ間通信ケーブルを接続する

パワーコンディショナを複数台設置する場合は、パワーコンディショナ間をパワコン間通信ケーブルで接続する必要があります。パワーコンディショナの施工マニュアルをご確認の上、ケーブルをご準備ください。また、接続方法につきましても、同様に施工マニュアルをご確認の上、接続してください。

### 3 パワーコンディショナの局番設定

パワーコンディショナ間を通信ケーブルで接続する場合、パワーコンディショナの局番設定が必要になります。パワーコンディショナの施工マニュアルを確認し、設定を行ってください。

#### ■パワーコンディショナの“局番”とは？

パワーコンディショナを複数台設定する場合、パワーコンディショナ毎に識別番号を設定する必要があります。本製品ではその識別番号を“局番”という名称で記載しています。

この識別番号の呼称はパワーコンディショナの型式によって異なりますので、施工マニュアルを確認される際はご注意ください。

【例】パワコンアドレス(VBPC255GC1)

局番設定例

接続台数	局番
パワーコンディショナ 1 台目	1
パワーコンディショナ 2 台目	2
パワーコンディショナ 3 台目	3

- SVセンサとの接続が近い順に、「パワーコンディショナ 1 台目」、「パワーコンディショナ 2 台目」、「パワーコンディショナ 3 台目」と表現しています。
- 工場出荷時、パワーコンディショナには同一の局番が設定されています。SVセンサと接続される複数台のパワーコンディショナの中で、局番が重複しないよう設定してください。必ず「1」から順に局番を割り当ててください。  
※接続対象のパワーコンディショナによっては、周辺機器の局番設定が必要になる場合があります。
- 上記の設定例に従って、パワーコンディショナ 4 台目以降を設定される場合は、「4」、「5」、「6」の順で局番を割り当ててください。

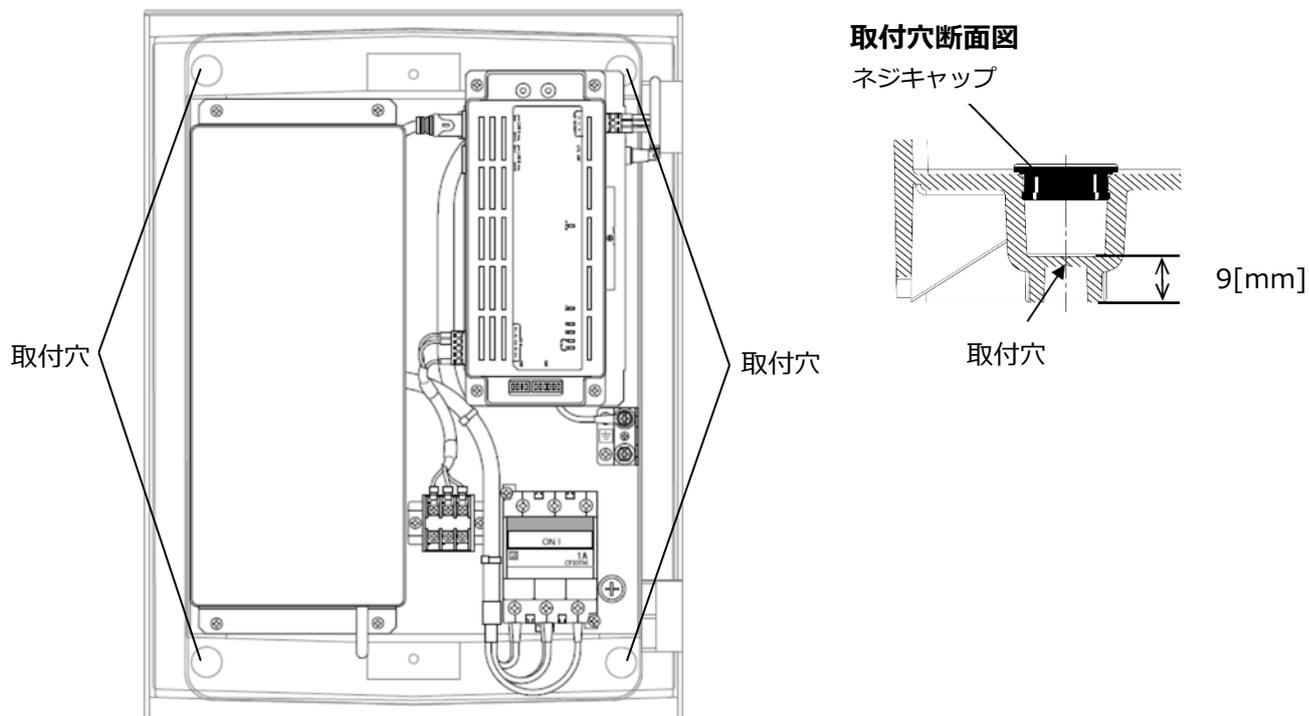
●局番設定が正しく設定されていないと、エコめがねは正しい発電量を算出できません。  
必ず上記の表のように設定してください。

# 本体を設置する

施工手順

## 1 モバイルパック PS の取付穴に対して、穴開け加工を行う

Φ6.5~7.0 mmのドリルにて穴あけ加工を行ってください。



## 2 本体底面に穴を開ける

本製品内に電源ケーブル、パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル、制御通信ケーブル（パワーコンディショナ-電力検出ユニット間ケーブル）を引き込むため、ご準備いただく PF 管コネクタに合わせ、本体底面3か所(電源ケーブル、通信ケーブル・制御通信ケーブルの通線用)に穴を開けてください。※

穴を開ける際、工具などでプラボックス内部の機器を傷つけないよう注意してください。

※弊社サービスのご利用にあたり、他の機器を接続する場合、必要に応じて接続する PF 管コネクタ数を増やしてください。

## 3 PF 管コネクタの取り付けを行う

## 4 本体を取り付ける

モバイルパック PS を架台、もしくは壁面に取り付けてください。

取り付け後、取付穴をコーキング材でコーキングし、同梱されているネジキャップを取り付けてください。万一、ネジキャップの取り付け等をお忘れになりますと、プラボックス内部に水分、小動物等が侵入し、内部機器の故障につながるおそれがあります。

●直射日光が当たる場所、直接雨にぬれる場所への設置はお避けください。

- 必ず主電源のブレーカがオフであることを確認して、作業してください。

## 1 電源ケーブルを、サーキットプロテクタへ接続する

電源ケーブルをモバイルパック PS 内にあるサーキットプロテクタに接続します。  
電源ケーブルに丸端子(M4 サイズ)を圧着し、端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。

接続に関する注意	・施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
	・電線の絶縁被ふくをかまないように圧着・接続してください。
	・端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。 接続不良は、発熱や発火の原因になります。 <b>端子ネジ：プラスマイナスネジ(M4) ネジアップ式</b> <b>標準締付トルク：1.2~1.5N・m</b>

## 2 接地線をアース端子につなぐ

接地線をモバイルパック PS 内にあるアース端子に接続します。  
接地線に丸端子(M5 サイズ)を圧着し、端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。

**端子ネジ：アースボルト(M5)**  
**標準締付トルク：2.0~2.5N・m**

## 1 パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルを準備する

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルは、ご使用のパワーコンディショナに応じてお客様にて作成いただく必要があります。ケーブルの作成方法については、弊社のエコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページにある「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考にご用意をお願いいたします。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

## 2 端子台にパワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルをつなぐ

モバイルパック PS の通信端子台には透明のカバーがついています。カバーを外してから接続作業を行ってください。

シグナルグランド(SG)のあるパワーコンディショナについては、SG線をSG端子に接続してください。

- ・端子ネジ：プラスマイナスナベセムス(M3.5×6.7L)
- ・通信ケーブル接続用端子台締め付けトルク：0.8～1.4N・m

### 【注意】

通信ケーブルのシールドとモバイルパック PS の SG 端子とを接続しますと、機器間の通信が安定しなくなることがあります。シールドは SG 端子に接続しないでください。

接続完了後は外したカバーを元に戻してください。

## 3 制御通信ケーブルを準備する

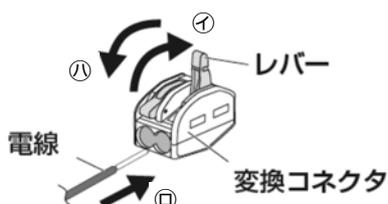
制御通信ケーブルは、同梱のパワコン変換ケーブルセットと、ご準備いただいた制御通信用ケーブル（FCPEV線）を使用し、お客様にて作成いただく必要があります。

（加工方法の詳細については、同梱のパワコン変換ケーブル施工マニュアルをご覧ください。）

- ①パワコン変換ケーブルセットに同梱されている変換ケーブル、およびご準備いただいた制御通信用ケーブル（FCPEV線）をストリップ加工する。



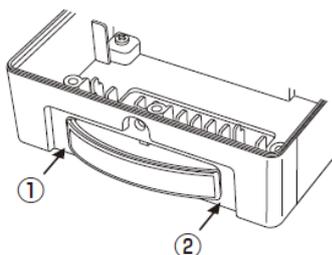
- ②ストリップ加工したケーブルを変換コネクタで接続する。  
（変換ケーブルや FCPEV 線には極性がありますので、間違えないよう接続してください）



- ①レバーを押し上げる。
- ②ストリップ加工した電線を突き当たるまで差し込む。
- ③レバーを押し下げる。

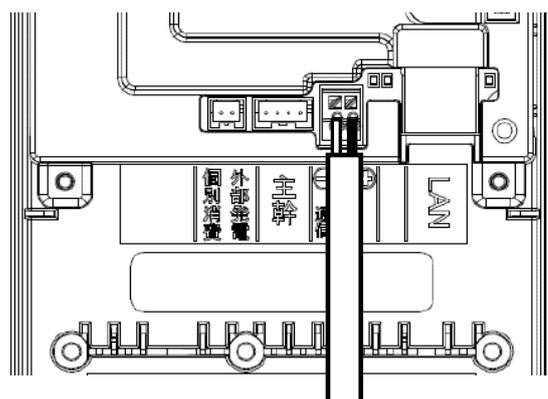
## 4 電力検出ユニットのノックアウト穴にブッシングを取り付ける

電力検出ユニット下部のユリヤねじを取り外し、電力検出ユニットのフタを外してください。  
ブッシングは、①片方の短辺を先に、②次に逆の短辺を入れてください。  
ブッシングに配線を通す際は、必要に応じカッターなどで切り込みを入れてください。



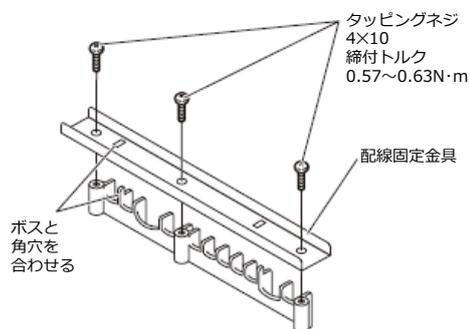
## 5 電力検出ユニットに制御通信ケーブルをつなぐ

電力検出ユニットのパワコン通信端子に、作成した制御通信ケーブルを接続してください。  
(ストリップ長さ：9mm)



## 6 電力検出ユニットに配線固定金具を取り付ける

配線接続後、本体の刻印に併せてケーブルを配線固定金具で固定してください。



## 7 PF 管コネクタとケーブル間の隙間をパテで埋める

PF 管コネクタと電源ケーブル、通信ケーブル、制御通信ケーブルの隙間をパテ埋めしてください。

※パテ埋めが十分でない場合、プラボックス内部に水分、小動物等が侵入し、内部機器の故障につながるおそれがあります。

# 接続台数・通信方式の設定

## ● 電力検出ユニットの設定

### ■ 最大接続台数設定

接続するパワーコンディショナの台数に合わせて、電力検出ユニットの最大接続台数の設定を行ってください。

パワーコンディショナ 5 台まで：DIP-1 スイッチ No.3 を **OFF** (出荷時設定)

パワーコンディショナ 9 台まで：DIP-1 スイッチ No.3 を **ON**

### ■ 通信方式設定

電力検出ユニットの RS485 通信方式が [独自] になっていることを確認する。

DIP-1 スイッチ No.2 を **ON** (出荷時設定)

設定完了後は外したフタを元に戻し、ユリヤねじで固定してください。

## ● パワーコンディショナの設定

※パワーコンディショナの各種設定方法については、ご利用のパワーコンディショナの施工マニュアルをご参照ください。

### ■ 最大接続台数設定

接続するパワーコンディショナの台数に合わせて、パワーコンディショナ上の DIP スイッチ等により接続台数の設定を行ってください。

(ご利用のパワーコンディショナの型式によっては、設定不要の場合もあります。)

### ■ 通信方式設定

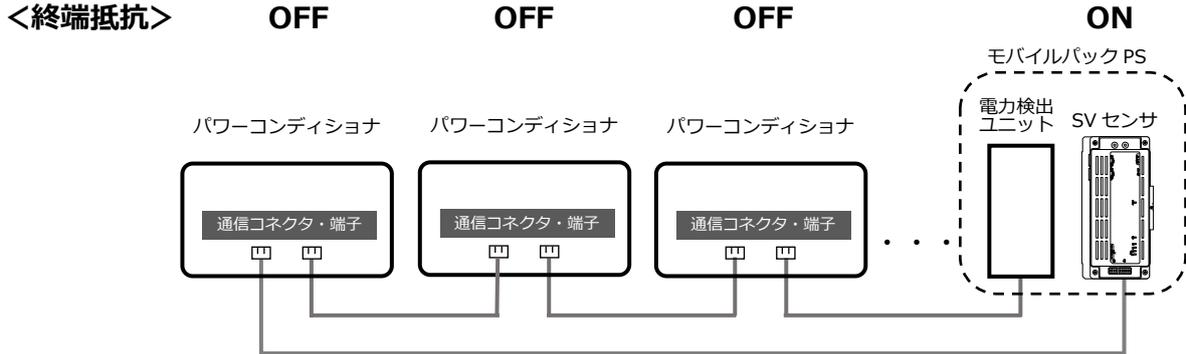
パワーコンディショナの MODBUS (通信切替) スイッチを「OFF」にしてください。

MODBUS (通信切替) スイッチの呼称は、パワーコンディショナの型式により異なる場合があります。

## ● 終端抵抗設定

パワーコンディショナを複数台接続する場合は、終端抵抗の設定が必要になります。  
一般的に、通信経路の終端に位置する機器については、終端抵抗の設定を ON にし、中間に存在する機器については終端抵抗を OFF にする必要があります。  
パワーコンディショナの終端抵抗設定については、パワーコンディショナの施工マニュアルに従って、設定を行ってください。

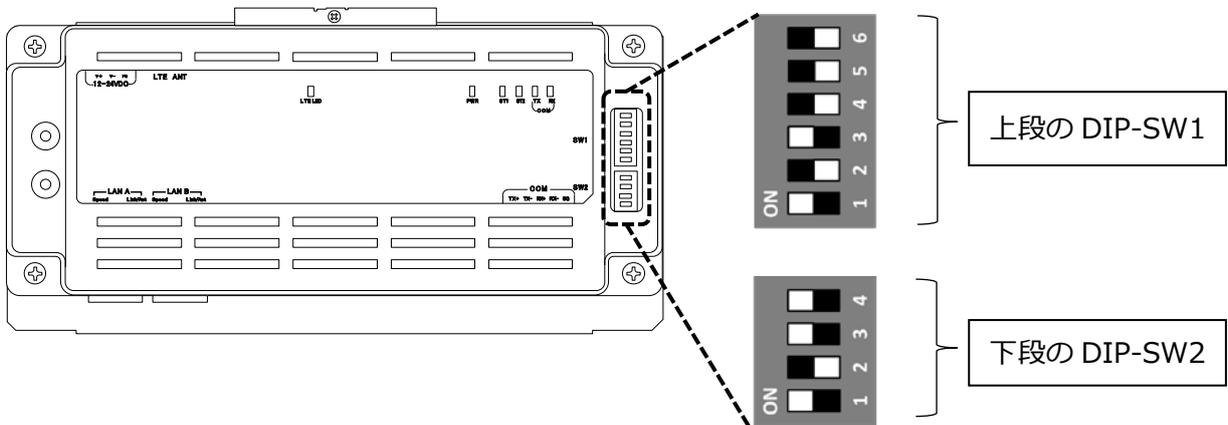
### ■ モバイルパック PS を通信経路の終端に設置する場合(推奨)



● すべてのパワーコンディショナの終端抵抗を OFF にする。

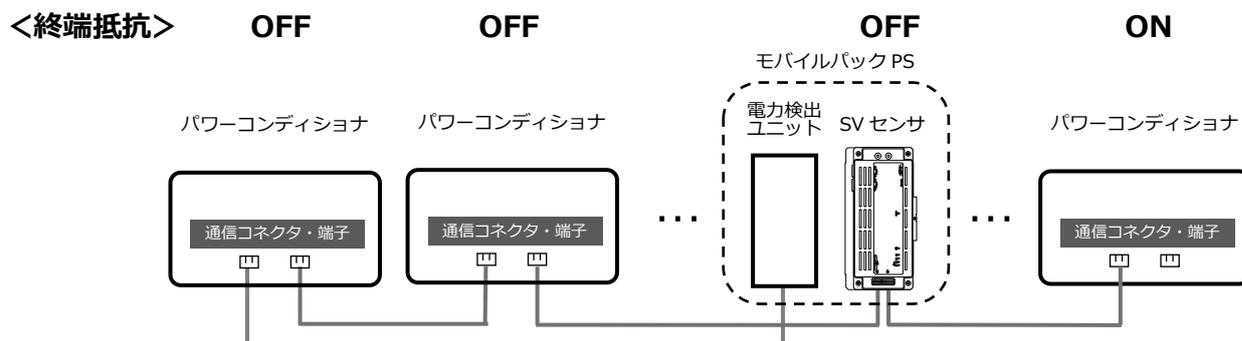
● SV センサの終端抵抗の設定を確認/変更する。

SV センサの右側にある DIP-SW2 No.1 が ON 状態であることを確認してください。  
ON 状態でない場合、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。(下図参照)



※SW の状態を白の四角で表しています。

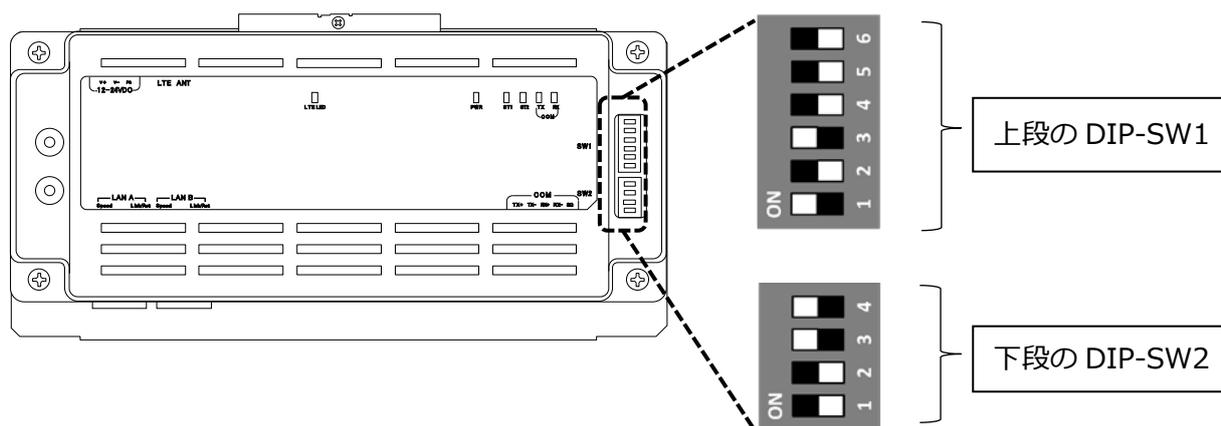
## ■ モバイルバック PS を通信経路の終端以外に設置する場合



- 通信線の終端に位置する 1 台のパワーコンディショナ、もしくはその周辺機器の終端抵抗を ON にし、それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗を OFF にする

### ● SV センサの終端抵抗の設定を確認/変更する

SV センサの右側にある DIP-SW2 No.1 を、セラミックドライバ等を用いて OFF に変更してください。OFF 状態でない場合、セラミックドライバ等を用いて OFF に変更してください。(下図参照)



## ● 起動前の確認

起動を始める前に、以下の項目を確認してください。

- 本装置の設置・電源配線が完了している。
- 接続しているパワーコンディショナの施工が完了している。  
パワーコンディショナの施工については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- パワーコンディショナが起動できる日射量がある。  
初期設定の際はパワーコンディショナと通信を行うため、パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、本装置の初期設定を行ってください。

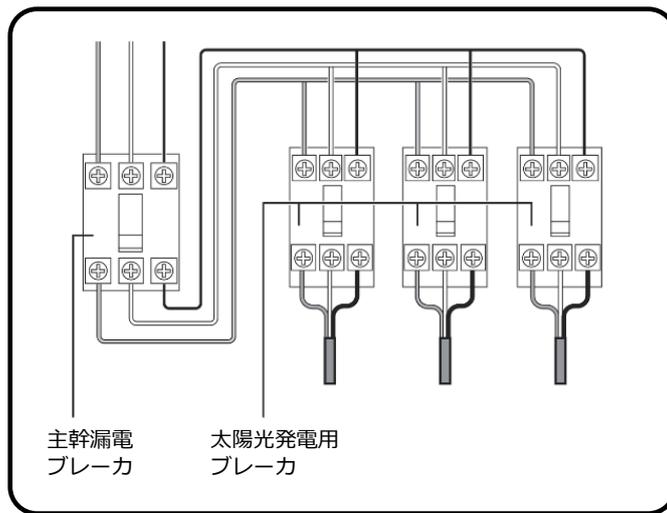
## ● 起動する

システムを起動する前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）を**オン**にしてください※
- 太陽光発電用ブレーカを**オン**にしてください※
- パワーコンディショナの運転スイッチを**オン**にしてください※
- モバイルパック PS 用主電源ブレーカを**オン**にしてください

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

集電箱（全量買取方式）の例



### 1 モバイルパック PS のサーキットプロテクタを ON にする

SV センサ・電力検出ユニットが起動を開始します。

## 2 SV センサのランプ状態を確認する

電源投入後、下記のようにランプ状態が遷移して起動が完了します。

### 【注意】

- ・SV センサの起動中にファームウェアアップデートが自動実施されることがあります。
- ・ファームウェアアップデート中は絶対に電源を切らないでください。SV センサが故障することがあります。
- ・ファームウェアアップデート実施の目安時間は 15 分～20 分です。(接続環境によっては 20 分以上要する場合があります。)

### ■ SV センサ起動時のランプ状態

No.	ランプ表示	ランプ状態
①		<b>電源投入時</b> ・PWR : 緑点灯 ・ST1 : 緑点灯 ・ST2 : 赤点灯
②		・PWR : 消灯
③		・PWR : 緑点灯 ・ST1 : 消灯 ・ST2 : 消灯
④		<b>起動完了</b> ・LTE : 表示開始 →電波強度に応じた表示 ※
⑤		<b>ファームウェアバージョンアップ実施中</b> ・ST1 : 緑点滅 ・ST2 : 赤点滅

SV センサのファームウェアアップデートがない場合は、④で起動完了となります。  
 アップデートが実施される場合は、⑤に引き続き再起動が実施され、再度①～④のように状態が変化します。

※電波強度に応じた表示は下表「LTE 電波強度ランプ一覧」をご覧ください。

### ■ LTE 電波強度ランプ一覧

ランプ表示	電波強度
緑点灯	電波レベル 4 (強)
緑点滅	電波レベル 3
赤点灯	電波レベル 2
赤点滅	電波レベル 1
消灯	電波レベル 0 (弱)

電波強度がレベル 1 以下の場合は安定して通信ができません。  
 モバイルパック PS の設置位置を変更してください。

## 3 電力検出ユニットのランプ状態を確認する

電源投入後、下記のように状態表示用 LED の点灯状態が遷移して起動が完了します。

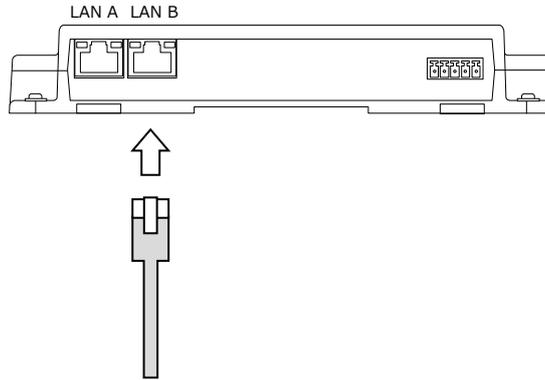
### ■ 電力検出ユニット起動時のランプ状態

No.	状態表示用 LED 表示	ランプ状態
①		電源投入時 ・ 緑点滅
②		・ 橙点滅
③		・ 緑点灯
④		・ 消灯
⑤		・ パワーコンディショナ接続台数の回数だけ緑点滅
⑥		・ 消灯
⑦		起動完了 ・ 緑点灯

※起動時③～⑥は、2回繰り返します。

## 1 設定用にご準備頂いた PC と SV センサを LAN ケーブルで接続する

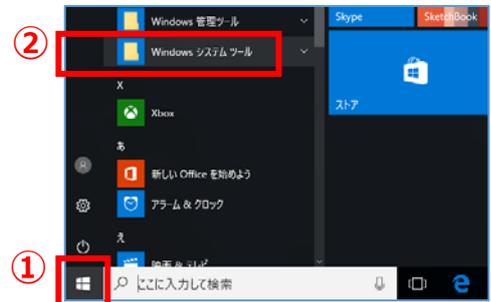
設定用 PC に LAN ケーブルをつないでください。  
 同様に LAN ケーブルの他方を SV センサの LAN B のポートにつないでください。  
 (LAN A ポートに接続されている LAN ケーブルは、電力検出ユニットと接続されているため  
 抜かないでください。)



## 2 設定用 PC の IP アドレスを設定する

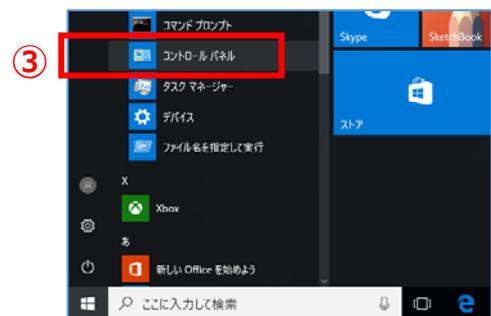
設定用 PC から各機器に接続するために、一時的に PC の IP アドレス設定を変更してください。

① 「スタート」 ボタンをクリックする (右図①)



② 「Windows システムツール」 をクリックする (右図②)

③ 「コントロールパネル」 をクリックする (右図③)



④ 「ネットワークとインターネット」 をクリックする (右図④)



# 設定用 PC の準備 (つづき)

## 施工手順

⑤ 「ネットワークと共有センター」 をクリックする (右図⑤)



⑥ 「アダプターの設定の変更」 をクリックする (右図⑥)

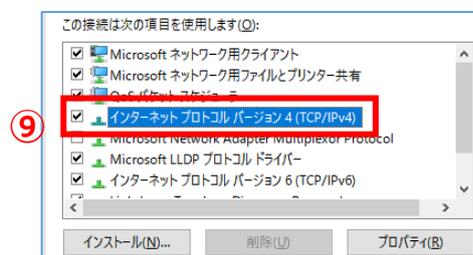


⑦ 「イーサネット」 を右クリックする (右図⑦)



⑧ サブメニューより「プロパティ」 をクリックする (右図⑧)

⑨ 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」 をダブルクリックする (右図⑨)

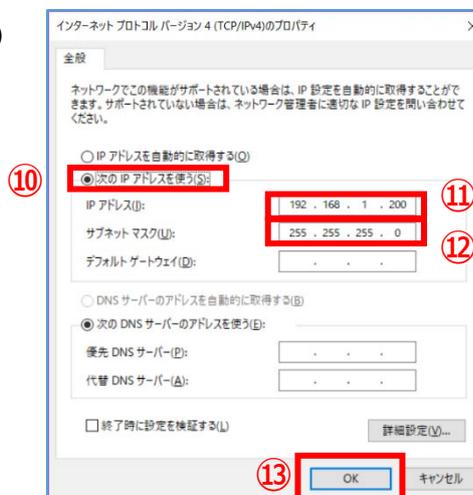


⑩ 「次の IP アドレスを使う」 をクリックして ONにする (右図⑩)

⑪ IP アドレスに「192.168.1.200」と入力する (右図⑪)

⑫ サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力する (右図⑫)

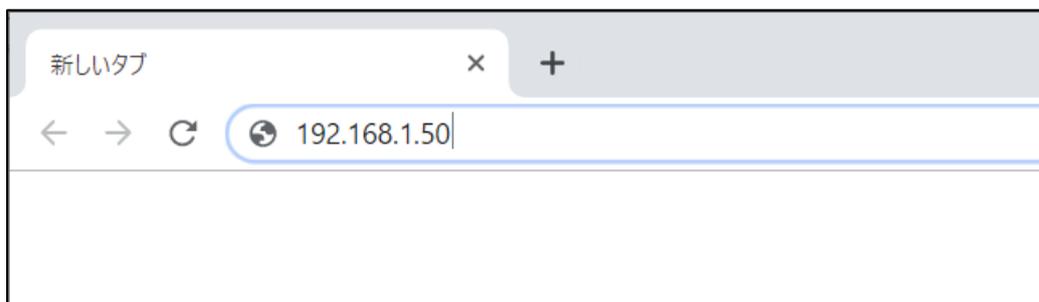
⑬ 「OK」 をクリックする (右図⑬)



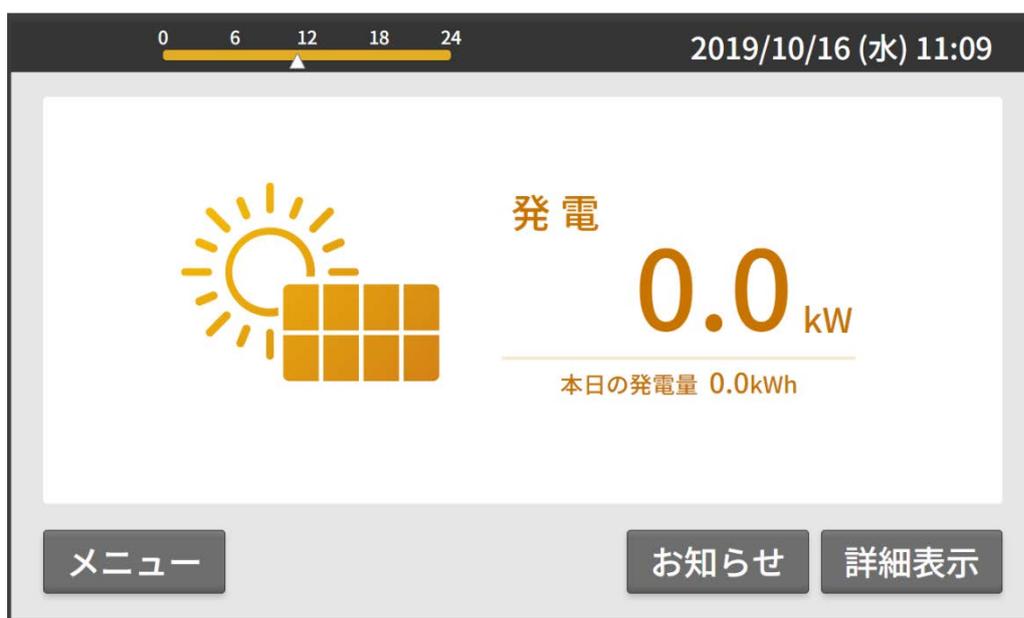
## 1 電力検出ユニットのモニター画面にアクセスする

設定用 PC にてブラウザを開き、モニター画面を表示する。

モニタ画面 URL : <http://192.168.1.50/>



## 2 モニター画面上から必要な設定を行う



電力検出ユニットにて、出力制御設定などを行ってください。

(出力制御設定のご不明点につきましては、製造メーカー様 (パナソニック社) が指定する「ご販売店様・サービスマン専用発電所 ID 設定マニュアル」をご参照ください。)

**【注意】** 電力検出ユニットのネットワーク設定は変更しないでください。  
設定を変更すると、電力検出ユニットが正しく動作しなくなります。

## ● ご準備頂いた SV センサ設定用端末の確認

ご準備頂いた SV センサ設定用端末によって、設定方法が異なります。  
お手元の設定端末をご確認の上、対応する初期設定手順に進んでください。

### ■ 「設置現場で Web 接続可能な情報端末(PC、スマートフォン、タブレット端末等)」をご準備頂いた場合

→ [「SV センサ初期設定～設定ツール\(ブラウザ版\)～」 P.36 へ](#)

### ■ [最新版「SV センサ設定ツール(4G)」をインストールした Windows PC] をご準備頂いた場合

→ [「SV センサ初期設定～設定ツール\(ソフトウェア版\)～」 P.44 へ](#)

## ● SV センサの初期設定を実施する

### 1 SV センサの DIP-SW1 の No.3 が ON であることを確認する

DIP-SW1 の No.3 が ON でない場合は、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。



※SW の状態を白の四角で示しています。

### 2 「SV センサ設定ツール(ブラウザ版)」にアクセスする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://mc2.eco-megane.jp>

### 3 「ご利用いただく前に」を確認する

「ご利用いただく前に」を読み、同意頂ける場合は「同意する」ボタンを押下してください。

## 4 商品 ID とセンサーID を確認する

SV センサ本体に貼り付けられた「商品 ID ラベル」、「センサーID ラベル」から 11 桁 (ハイフンなし) の商品 ID と 12 桁のセンサーID を確認し、ログイン画面の商品 ID 欄及び、センサーID 欄に入力してください。

エコめがね MC (4G) 設定ツール

商品ID

センサーID

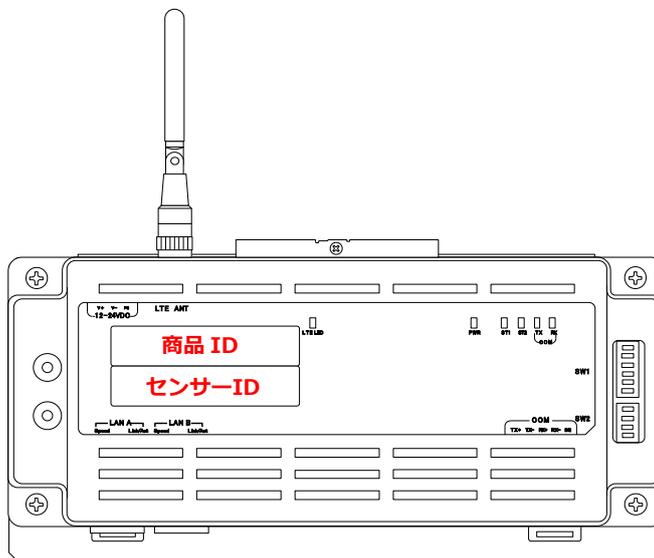
SVセンサ本体に記載してある商品IDとセンサーIDを入力して下さい。

ログイン

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～17:30  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY



### 【注意】

- ・パワーコンディショナの施工および設定、モバイルパック PS の施工が完了した状態で SV センサの設定を開始してください。
- ・SV センサのファームウェアアップデートが実施されている場合は、SV センサの設定を実施できません。ファームウェアアップデートが終了してから SV センサの設定を実施してください。

## 5 SV センサにログインする

「ログイン」ボタンを押下し、センサシリアル、FW バージョンが表示され、PCS 設定画面が表示されることを確認してください。

エコめがね MC (4G) 設定ツール

商品ID

センサーID

SVセンサ本体に記載してある商品IDとセンサーIDを入力して下さい。

ログイン

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～17:30  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY

エコめがね MC (4G) 設定ツール

ログイン

ログイン中です。  
しばらくお待ちください。

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～17:30  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY

エコめがね MC (4G) 設定ツール

商品ID

センサーID

センサシリアル : GIRKR27000727

FWバージョン : 1.37

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し「登録」ボタンを押下して下さい。

▼PCS台数  
選択してください

▼PCSメーカー  
選択してください

戻る 登録

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～17:30  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY

## 6 パワーコンディショナ接続台数を PCS 台数のドロップダウンリストから選択する



## 7 PCS メーカーをドロップダウンリストから選択する

・センサシリアル : GIRKR27000727  
 ・FWバージョン : 1.37  
 PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し  
 「登録」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
 3台

▼PCSメーカー  
 【エラーコードあり】パナソニック

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	選択してください
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	選択してください
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	選択してください
	IPアドレス	入力不要です

戻る 登録

## 8 パワーコンディショナの型式をドロップダウンリストから選択する

**【注意】**

- ・ PCS1 の型式を選択すると、自動で PCS1 の型式と同じ型式が PCS2 以下の型式欄にセットされます。
- ・ 「局番」 はパワーコンディショナに設定した番号を選択してください。

<デフォルト値>

- PCS1 = 局番 1
- PCS2 = 局番 2
- ⋮
- PCS9 = 局番 9

- ・ 選択された「PCS メーカー」によっては、IP アドレスの登録が必要な場合があります。
- ・ 登録する IP アドレスの情報については、ケーブル加工マニュアルの内容をご参照ください。

・ センサシリアル : GIRKR27000727  
 ・ FWバージョン : 1.37

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し「登録」ボタンを押下してください。

▼ PCS台数  
3台

▼ PCSメーカー  
【エラーコードあり】パナソニック

▼ PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	VBPC2cc-B/B1/B2/B3
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	VBPC2cc-B/B1/B2/B3
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	VBPC2cc-B/B1/B2/B3
	IPアドレス	入力不要です

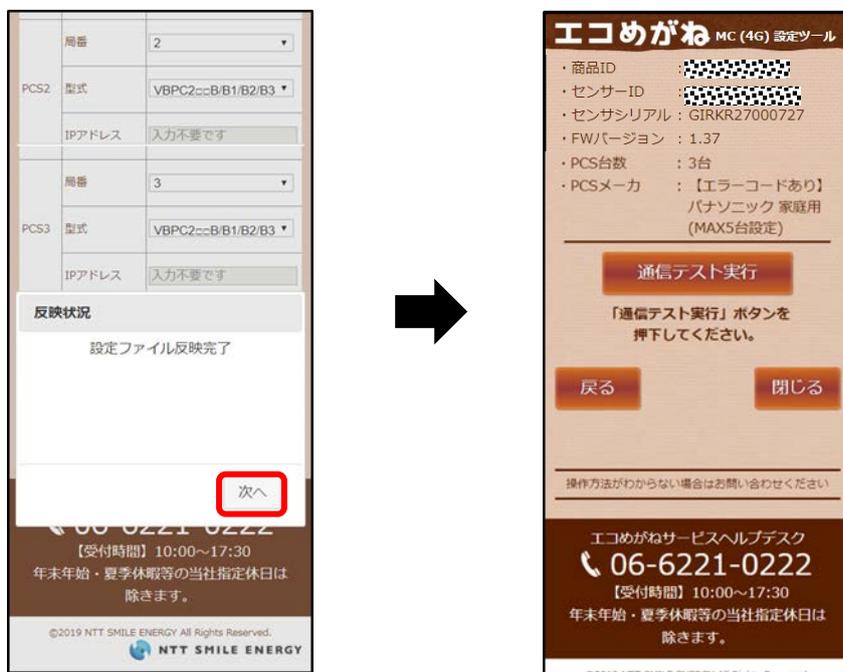
戻る 登録

## 9 「登録」ボタンを押下し、登録内容に問題なければポップアップ画面の「はい」ボタンを押下する



## 10 「設定ファイル反映完了」のポップアップ画面が表示されることを確認し、「次へ」ボタンを押下する

※通信テスト実行画面が表示されます。



以上で初期設定は完了です。

👉引き続き次頁の「SV センサ動作確認～設定ツール(ブラウザ版)～」へ進んでください。

## ● SV センサの動作確認を実施する

前頁の「SV センサ初期設定～設定ツール(ブラウザ版)～」から引き続き、SV センサの動作確認を行います。

### 【注意】

通信テストを実行する前に、通信ケーブルが正しく接続されており、パワーコンディショナが連系運転状態であることを確認してください。

## 1 「通信テスト実行」ボタンを押下する



## 2 「次へ」ボタンを押下して通信テスト実行結果を確認する

**【注意】**

- ・SV センサ-サーバ間通信テストが「OK」、各パワーコンディショナの状態が「正常」で発電量が取得できていることを確認してください。
- ・SV センサの設定を変更する場合は「戻る」ボタンを押下して、PCS 初期設定画面へ戻ってください。



▼通信テスト実行結果  
<SVセンサーサーバ間通信テスト>  
**OK**

<SVセンサーPCS間通信テスト>

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3、V BPC255C1/C2/GC1
	IPアドレス	
	状態	正常
	発電量	5.5kW
PCS2	局番	2
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3、V BPC255C1/C2/GC1
	IPアドレス	
	状態	異常
	発電量	0.0kW
PCS3	局番	3
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3、V BPC255C1/C2/GC1
	IPアドレス	
	状態	異常
	発電量	0.0kW

戻る 閉じる

**【POINT】**  
「NG」となる場合は、以下の内容を確認してください。

- ① SV センサが起動しているか。
- ② 電界強度ランプが電解レベル2(橙点滅)以上か。

<電界レベル>  
レベル5：緑点灯  
レベル4：緑点滅  
レベル3：橙点灯  
レベル2：橙点滅  
レベル1：赤点灯  
レベル0：赤点滅

**【POINT】**  
状態が「異常」(「正常」以外の状態)や発電量が「0.0kW」や「空欄」となっている場合は、以下の内容を確認してください

- ① パワーコンディショナが連系運転状態で正常に動作しているか。
- ② パワーコンディショナと接続している通信ケーブルが正しく配線されているか。
- ③ SV センサに設定した接続台数、PCS メーカー、型式、局番、IP アドレスが接続しているパワーコンデ

**【POINT】**  
状態が「正常」で正しく発電量が表示されている場合でも、パワーコンディショナの動作状態を目視で確認してください。

## 3 「閉じる」ボタンを押下し、Web ブラウザを閉じる

## 4 SV センサのランプ状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。



PWR : 緑点灯  
ST1 : 緑点滅  
ST2 : 消灯  
TX : 黄点滅 } ※  
RX : 黄点滅 }

※接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

### 【注意】

ST2 が赤点灯している場合、SV センサが NSE サーバと通信できていません。

「LTE 電波強度ランプ一覧」(P.30) を参照して SV センサの LTE LED ランプ状態を確認してください。

## 5 必要に応じてパワーコンディショナ本体の運転スイッチ、開閉器を操作する\*

施工完了後、ご希望に応じて、運転スイッチ、開閉器を操作してください。

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナの操作を行ってください。

### ■ 発電所の運転を止める場合

モバイルパック PS の主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器 (またはパワーコンディショナの入力開閉器)、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください。

### ■ そのまま発電所の運用を開始する場合

モバイルパック PS の主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器 (またはパワーコンディショナの入力開閉器)、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オン**のままにしてください。

## ● SV センサの初期設定を実施する

### 1 SV センサの DIP-SW1 の No.3 が ON であることを確認する。

DIP-SW1 の No.3 が ON でない場合は、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。



※SW の状態を白の四角で示しています。

### 2 設定用 PC に解凍した「SV センサ設定ツール (4G)」を起動する

「SV センサ設定ツール(4G)」フォルダにある、「SV センサ設定ツール(4G).exe」をダブルクリックしてください。

### 3 「接続」ボタンを押す

SV センサ設定ツールの TOP 画面が表示されたら、「接続」ボタンを押してください。

必ず SV センサの起動が完了し、LTE 電波強度がレベル 2 以上であることを確認(P.30)してから「接続」ボタンを押してください。

#### ● 「センサに接続できません」のポップアップ画面が表示された場合…

SV センサ設定ツールを終了してから、SV センサの「RESET」スイッチを押し、再度手順 1~3 を実施してください。



## 4 SV センサの状態を確認する

SV センサ設定ツール上に SV センサのシリアル No.とファームウェアバージョン(以降ファームウェアを FW と記載する)が表示されます。

### ■ センサシリアル、FW バージョンが表示されない場合

SV センサ設定ツールを終了してから、SV センサの「RESET」スイッチを押し、再度手順 1~3 を実施してください。

### ■ 「接続できませんでした」と表示される場合

「OK」ボタン押下後、再度、「接続」ボタンを押下してください。

繰り返し表示される場合は、一旦 SV センサ設定ツールを終了し、設定用 PC の LAN ケーブルを抜き差ししてから、設定ツールを再度起動してください。



## 5 「設定」ボタンを押す

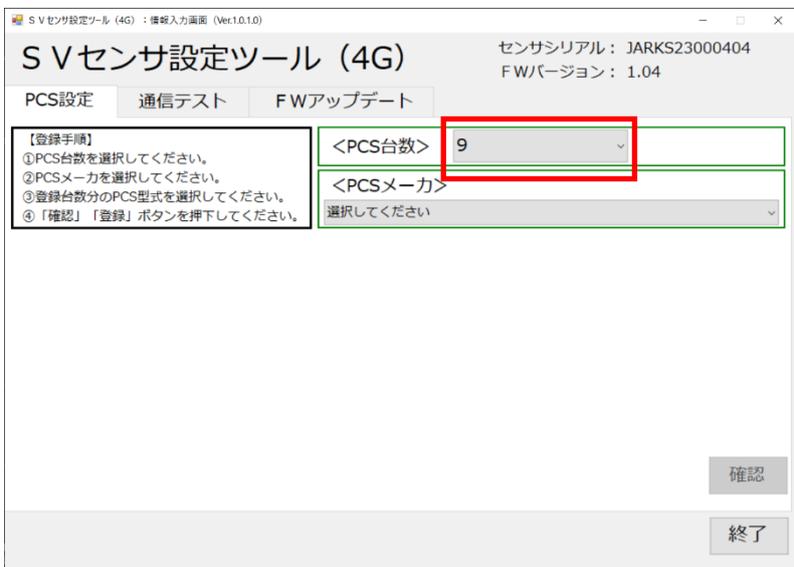


## 6 「PCS 設定」画面が表示される



## 7 「<PCS 台数>」のドロップダウンリストから SV センサに接続するパワーコンディショナの台数を選択する

SV センサに接続できるパワーコンディショナの台数は最大 9 台です。(以降は 9 台での設定例です。) ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合はその仕様に従います。



## 8 「<PCS メーカー>」のドロップダウンリストから、パワーコンディショナのメーカーを選択する



## 9 「〈PCS 型式〉」にて、パワーコンディショナの局番、型式を選択する

ドロップダウンリストから、パワーコンディショナの局番、型式を選択してください。  
手順7で設定した〈PCS 台数〉の数値に応じて、局番は自動で設定されます。

仮にパワーコンディショナ側の局番を「1」～「9」以外で設定された場合、  
パワーコンディショナ側の設定に合わせて、SV センサ設定ツール側の局番を変更いただく必要があります。

S V センサ設定ツール (4G)      センサシリアル: JARKS23000404  
FWバージョン: 1.04

PCS設定    通信テスト    FWアップデート

【登録手順】  
①PCS台数を選択してください。  
②PCSメーカーを選択してください。  
③登録台数分のPCS型式を選択してください。  
④「確認」「登録」ボタンを押下してください。

<PCS台数> 9

<PCSメーカー>  
【エラーコードあり】パナソニック 家庭用(MAX9台設定)

<PCS型式>

PCS	局番	型式
PCS1	1	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS2	2	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS3	3	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS4	4	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS5	5	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS6	6	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS7	7	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS8	8	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS9	9	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1

確認

終了

## 【注意】

選択された〈PCS メーカー〉によっては、IP アドレスの登録が必要な場合があります。  
登録する IP アドレスの情報については、ケーブル加工マニュアルの内容をご参照ください。

## 10 「確認」ボタンを押す

S V センサ設定ツール (4G)      センサシリアル: JARKS23000404  
FWバージョン: 1.04

PCS設定    通信テスト    FWアップデート

【登録手順】  
①PCS台数を選択してください。  
②PCSメーカーを選択してください。  
③登録台数分のPCS型式を選択してください。  
④「確認」「登録」ボタンを押下してください。

<PCS台数> 9

<PCSメーカー>  
【エラーコードあり】パナソニック 家庭用(MAX9台設定)

<PCS型式>

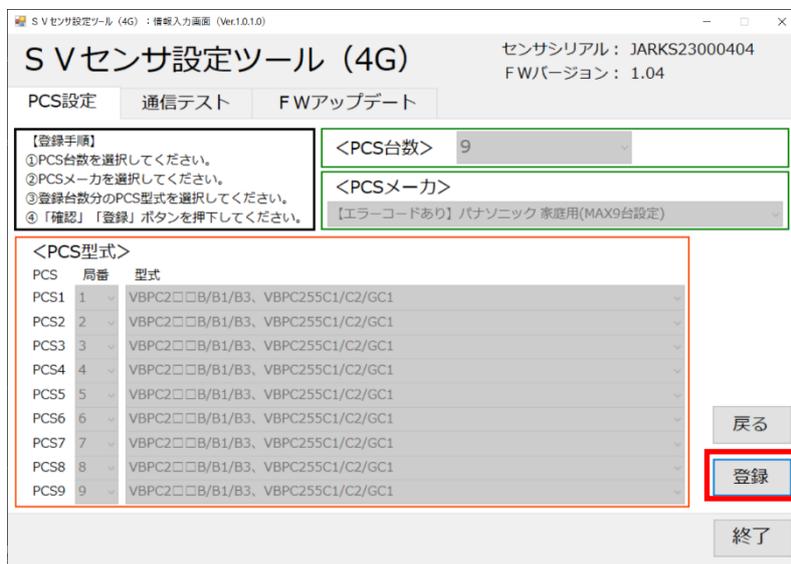
PCS	局番	型式
PCS1	1	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS2	2	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS3	3	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS4	4	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS5	5	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS6	6	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS7	7	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS8	8	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1
PCS9	9	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1

確認

終了

## 11 登録内容に誤りがないことを確認し、「登録」ボタンを押す

SV センサへ設定内容を送信します。送信中は“設定反映中”のポップアップが表示されています。



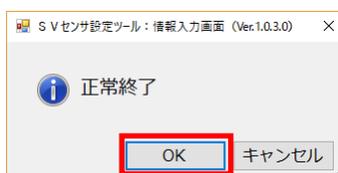
## 12 “正常終了”ポップアップ画面の「OK」ボタンを押す

「OK」ボタンを押すと、「通信テスト」画面に自動的に切り替わります。

⇒次の項目へ

- 「異常終了」のポップアップ画面が表示される場合…

「終了」ボタンを押し、SV センサ設定ツールを終了してから、再度手順 2～12 を実施してください。



以上で初期設定は完了です。

👉引き続き次頁の「SV センサ動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)～」へ進んでください。

前頁の「初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)～」から引き続き、モバイルパック PS の動作確認を行います。

## 1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

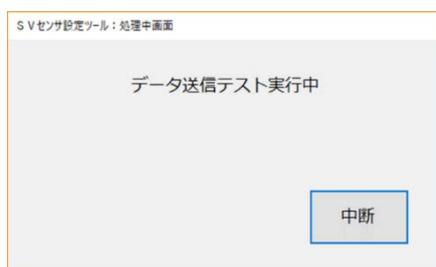
パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系状態であることを確認してください。

## 2 「通信テスト実行」ボタンを押す

初期設定完了後、SV センサ設定ツール側で自動的に“通信テスト”画面に遷移しています。



「通信テスト実行」ボタンを押すと、“データ送信テスト実行中”ポップアップが表示されるので、ポップアップが消えるまでしばらくお待ちください。



### 3 <通信テスト実行結果>の内容を確認する

センサーサーバ間通信テストが OK であること、PCS 1～9 の状態が正常であることを確認してください。

S V センサ設定ツール (4G)      センサシリアル: JARKS23000404  
FWバージョン: 1.04

PCS設定    通信テスト    FWアップデート

【通信テスト手順】  
①RS485ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。  
②PCSが系統連系状態であることを確認してください。

PCS台数: 9台  
PCSメーカー: 【エラーコードあり】パナソニック 家庭用(MAX9台設定)

通信テスト実行

<通信テスト実行結果>  
センサーサーバ間通信テスト・・・OK

PCS	局番	型 式	状態	発電電力量
PCS1	1	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS2	2	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS3	3	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS4	4	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS5	5	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS6	6	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS7	7	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS8	8	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw
PCS9	9	VBPC2□□B/B1/B3、VBPC255C1/C2/GC1	正常	5.0 kw

終了

<通信テスト結果>欄には以下の内容が表示されます。

#### ① センサー-サーバ間通信テスト

SV センサとスマイルエナジーのサーバ間の通信テストの結果を示しています。

**OK** : 正常に動作しています。

**NG** : データ送信に失敗しました。

SV センサが正常動作しているか確認してください。

SV センサの電界強度ランプがレベル 2(橙色点滅)以上であることを確認してください。

問題がなければ、再度「通信テスト実行」ボタンを押してください。

#### ② 状態

SV センサとパワーコンディショナの通信状態、パワーコンディショナのエラー発生状況を確認した結果を示しています。

**正常** : 正常に動作しています。

**異常** : パワーコンディショナと SV センサ間の通信、もしくはパワーコンディショナに異常が発生しています。以下の内容を確認し、問題を解消してから再度「通信テスト実行」ボタンを押してください。

- パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続されているか

- SV センサ設定ツールで設定した内容(設置台数、メーカー、型式、局番)が、設備の状況と一致しているか

#### ③ 発電電力量

発電電力量は、「通信テスト実行」ボタン押下時にパワーコンディショナから取得される情報です。

パワーコンディショナの発電電力量表示と、おおよそ同じ値であることを確認してください。

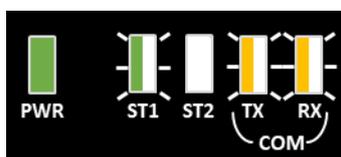
※ツール上に表示される値はボタン押下後、継続的に更新されるものではありません。

このため、発電電力量が急激に変化するような日照条件では、ツールに表示される値とパワーコンディショナに表示される値にずれが生じる場合があります。

## 4 設定ツールの「終了」ボタンを押す

## 5 SV センサのランプ状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。



PWR : 緑点灯  
ST1 : 緑点滅  
ST2 : 消灯  
TX : 黄点滅 } ※  
RX : 黄点滅 }

※接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

### 【注意】

ST2 が赤点灯している場合、SV センサが NSE サーバと通信できていません。

「LTE 電波強度ランプ一覧」(P.30) を参照して SV センサの LTE LED ランプ状態を確認してください。

## 6 必要に応じてパワーコンディショナ本体の運転スイッチ、開閉器を操作する\*

施工完了後、ご希望に応じて、運転スイッチ、開閉器を操作してください。

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナの操作を行ってください。

### ■ 発電所の運転を止める場合

モバイルパック PS の主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください。

### ■ そのまま発電所の運用を開始する場合

モバイルパック PS の主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オン**のままにしてください。

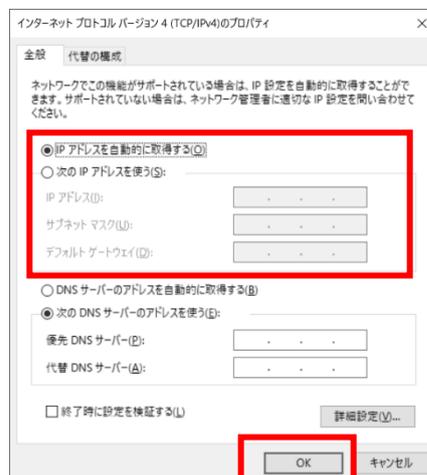
電力検出ユニット・SV センサの設定が完了しましたら、設定用 PC に行った IP アドレスの設定を元に戻してください。

## 1 SV センサと設定用 PC 間の LAN ケーブルを外す

## 2 設定用 PC の IP アドレスの設定を元に戻す

IP アドレス PC の設定を、お客様の動作環境に戻してください

- ① スタートメニューより「Windows システムツール」をクリックします
- ② 「コントロールパネル」をクリックします
- ③ 「ネットワークとインターネット」をクリックします
- ④ 「ネットワークと共有センター」をクリックします
- ⑤ 「アダプターの設定の変更」を選択します
- ⑥ 「イーサネット」を右クリックします
- ⑦ サブメニューより「プロパティ」をクリックします
- ⑧ 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」をダブルクリックします
- ⑨ 「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックします（右図）※
- ⑩ OK をクリックします（右図）



※一時的な IP アドレス変更の前にお客様にて固定の IP アドレスを設定されていた場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックせずに「次の IP アドレスを使う」以下にお客様の IP アドレス情報を入力して、OK をクリックしてください。

## 取扱方法

# SV センサ設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)～

初期設定完了後は、以下の手順で SV センサの設定確認・編集を行うことができます。

## 1 Web ブラウザから SV センサにログインする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://mc2.eco-megane.jp>

SV センサの設定を実施済みの場合、「ログイン」ボタンを押下すると遷移先確認画面が表示されます。



## 2 SV センサの設定確認

「設定情報の確認・編集」ボタンを押下し、設定情報を確認する。



### 3 設定情報の確認画面にて「編集」ボタンを押下する

設定情報をご確認ください。  
設定情報を変更する場合は「編集」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
3台

▼PCSメーカー  
【エラーコードあり】パナソニック

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3、V BPC255C1/C2/GC1
	IPアドレス	
PCS2	局番	2
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3、V BPC255C1/C2/GC1
	IPアドレス	
PCS3	局番	3
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3、V BPC255C1/C2/GC1
	IPアドレス	

戻る 編集

### 4 変更したい箇所の編集を行い、「登録」ボタンを押下する

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し「登録」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
3台

▼PCSメーカー  
【エラーコードあり】パナソニック

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	VBPC2□□B/B1/B2/B3
	IPアドレス	入力不要です

戻る 登録

**【POINT】**

編集したい項目を選択し、変更してください。  
変更後は、「登録」ボタンを押下してください。

### 5 登録内容確認後、Web ブラウザを閉じる

初期設定完了後は、以下の手順で SV センサの設定確認・編集を行うことができます。

- 1 設定用にご準備頂いた PC と SV センサを LAN ケーブルで接続する (P.32)
- 2 設定用 PC の IP アドレスを設定する (P.32)
- 3 設定用 PC に解凍した「SV センサ設定ツール (4G)」を起動する (P.44)
- 4 「接続」ボタンを押す (P.44)
- 5 「設定」ボタンを押す (P.45)
- 6 「PCS 設定」画面が表示されるので、設定内容を確認する (P.45)
- 7 設定内容を変更する (P.45～P.47)
- 8 「確認」ボタンを押す (P.47)
- 9 登録内容に誤りがないことを確認し、「登録」ボタンを押す (P.48)
- 10 “正常終了”ポップアップ画面の「OK」ボタンを押す (P.48)
- 11 動作確認を行う (P.49)

初期設定完了後は、以下の手順でシステムの動作確認を実施することができます。  
パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、動作確認を行ってください。

## 1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系運転状態であることを確認してください。

## 2 SV センサの状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。

※以下の状態でない場合、設置施工、SV センサの初期設定が完了していないか、SV センサの動作状態が不安定になっていることが考えられます。該当する項目を確認して、問題を解消してください。



PWR : 緑点灯  
ST1 : 緑点滅  
ST2 : 消灯  
TX : 黄点滅 } ※  
RX : 黄点滅 }

※接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

## 3 SV センサにログインする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://mc2.eco-megane.jp>

SV センサの設定を実施済みの場合、商品 ID、センサーID 入力後、「ログイン」ボタンを押下するとメニュー画面が表示されます。



#### 4 「通信テストを行う」ボタンを押下する

「通信テストを行う」ボタンを押下し、通信テストを実施する。



#### 5 通信テスト実行結果の内容を確認する (P.42)

#### 6 「閉じる」ボタンを押下し、Web ブラウザを閉じる

初期設定完了後は、SV センサ設定ツールをインストールした PC を使って、システムの動作確認を実施することができます。

パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、動作確認を行ってください。

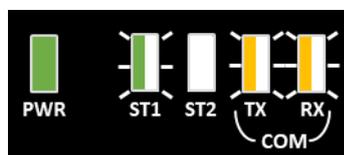
## 1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系運転状態であることを確認してください。

## 2 SV センサの状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。

※以下の状態でない場合、設置施工、SV センサの初期設定が完了していないか、SV センサの動作状態が不安定になっていることが考えられます。該当する項目を確認して、問題を解消してください。



PWR : 緑点灯  
 ST1 : 緑点滅  
 ST2 : 消灯  
 TX : 黄点滅  
 RX : 黄点滅

※接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

- 3 設定用にご準備頂いた PC と SV センサを LAN ケーブルで接続する (P.32)
- 4 設定用 PC の IP アドレスを設定する (P.32)
- 5 設定用 PC に解凍した「SV センサ設定ツール (4G)」を起動する (P.44)
- 6 「接続」ボタンを押す (P.44)
- 7 「設定」ボタンを押す (P.45)
- 8 「PCS 設定」画面が表示されるので、「通信テスト」タブを押す
- 9 パワーコンディショナが動作している状態で、「通信テスト実行」ボタンを押す (P.49)
- 10 <通信テスト実行結果>の内容を確認する (P.50)
- 11 設定ツールの「終了」ボタンを押す
- 12 SV センサと設定用 PC 間の LAN ケーブルを外す
- 13 設定用 PC の IP アドレスの設定を元に戻す (P.52)

# パワーコンディショナを交換・追加する

取扱方法

パワーコンディショナを交換・追加する場合は、お客様にて設定作業を行っていただく必要があります。

## 【注意】

モバイルパック PS は、製品による制約を受けない限り最大 9 台までのパワーコンディショナを接続することができます。

ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合、その仕様に従います。

## 1 交換・追加するパワーコンディショナのユニット No.を設定する

パワーコンディショナを交換・追加する場合、新たに設置するパワーコンディショナの局番設定を行います。

### ■ 交換する場合

パワーコンディショナを交換する場合は、置き換えで設置したパワーコンディショナに、交換前のパワーコンディショナと同じ局番を設定してください。

(例) 3 台のシステム構成で 2 台目を交換する場合

接続台数	局番	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3

交換前のパワーコンディショナと同じ局番を設定する

### ■ 追加する場合

パワーコンディショナを新たに追加する場合は、追加設置したパワーコンディショナに新たな局番を設定してください。

(例) 3 台のシステム構成で 4 台目を追加する場合

接続台数	局番	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3
(追加) パワーコンディショナ 4 台目	-	4

新たな局番を設定する

## 2 必要に応じて設定・動作確認作業を行う

### ■ 交換する場合

⇒ 「SV センサ動作確認～設定ツール(ブラウザ版)～(P.56)」

または

「SV センサ動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)～(P.58)」へ

### ■ 追加する場合

⇒ 「SV センサ設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)～(P.53)」、

「SV センサ動作確認～設定ツール(ブラウザ版)～(P.56)」

または

「SV センサ設定確認・編集～設定ツール(ソフトウェア版)～(P.55)」、

「SV センサ動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)～(P.58)」へ

# ファームウェアを更新する

取扱方法

SV センサのファームウェアを現地で手動更新することができます。  
ファームウェアは自動的に更新されますので、通常は手動更新を行う必要はありません。

- ファームウェア更新を手動で実施するためには、SV センサ設定用ツールをインストールした Windows PC、LAN ケーブル、ファームウェアをご準備いただく必要があります。
- ファームウェア更新中は SV センサの電源を落とさないでください。  
※電源を落とすと、正常に動作しなくなる恐れがあります。

## ● 更新ファームウェアの入手

### 1 ファームウェアを入手する

エコめがね販売会社さま向けダウンロードページより、最新のファームウェアをダウンロードしてください。  
<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

### 2 SV センサ設定ツールをインストールした PC に、入手したファームウェア (.bin ファイル) を保存する

### 3 設定用 PC と SV センサを LAN ケーブルで接続する (P.32)

### 4 設定用 PC の IP アドレスを設定する (P.32)

### 5 「SV センサ設定ツール (4G)」を起動する

### 6 「接続」ボタンを押し、SV センサの状態を確認する (P.44)

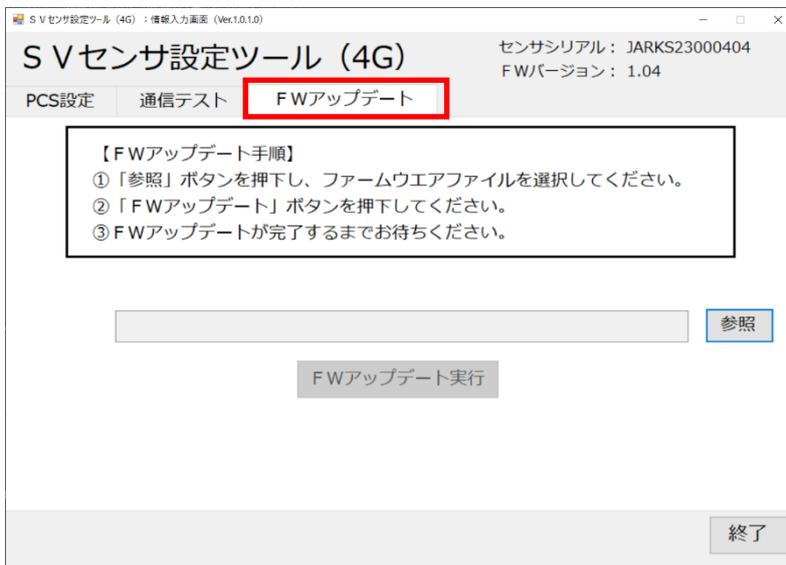
### 7 設定ツール上の「FW バージョン」とお持ちのファームウェアバージョンを確認する

設定ツール上で表示されている「FW バージョン」とお持ちのファームウェアのバージョン(ファイル名に記載)を確認してください。お持ちのファームウェアのバージョンの方が古い場合、ファームウェアの更新を中止してください。

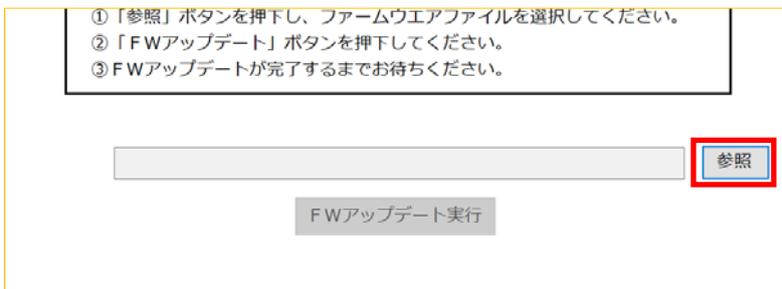
古いファームウェアで更新を行いますと、SV センサが正常に動作しなくなる恐れがあります。

### 8 「設定」ボタンを押し (P.45)

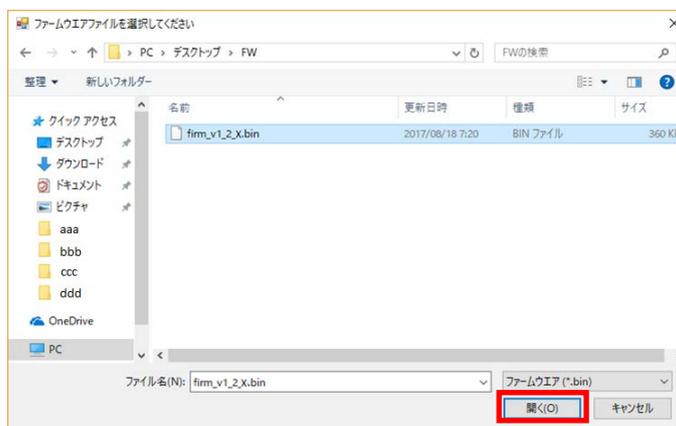
## 9 「FW アップデート」タブを押す



## 10 「参照」ボタンを押す

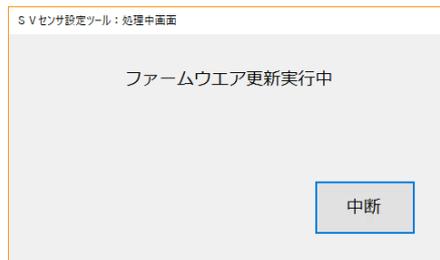


## 11 ポップアップ画面にて、保存しておいた“.bin ファイル”を選択後、「開く」ボタンを押す



## 12 「FW アップデート実行」ボタンを押す

FW アップデート実施後、SV センサは自動で再起動を実施します。  
SV センサ設定ツールに従い、「ファームウェア更新実行中」ポップアップ画面が消えるまで、数分間そのままの状態でお待ちください。



## 13 「FW アップデート完了」ポップアップ画面の「OK」ボタンを押す



## 14 設定ツール画面の右上の表示を確認し、FW のバージョンが更新されていることを確認する

## 15 終了ボタンを押す

## 16 SV センサと設定用 PC 間の LAN ケーブルを外す

## 17 設定用 PC の IP アドレスの設定を元に戻す(P.52)

# 電力検出ユニットを交換する

取扱方法

以下の手順に従って。電力検出ユニットの交換を行ってください。

## 1 発電設備を停止する

電力検出ユニットを取り外す前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）が**オフ**にしてください※
- 太陽光発電用ブレーカを**オフ**にしてください※
- パワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください※
- モバイルパック PS 用主電源ブレーカを**オフ**にしてください

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

## 2 モバイルパック PS のサーキットプロテクタを OFF にする

## 3 電力検出ユニットに接続されている配線を外す

電源配線、LAN ケーブル、制御通信ケーブルを外してください。

## 4 電力検出ユニットを交換する

## 5 交換した電力検出ユニットに配線を接続する

電源配線、LAN ケーブル、制御通信ケーブルを接続してください。

## 6 交換した電力検出ユニットの DIP スイッチを切り替える

新しい電力検出ユニットの DIP スイッチを下記の通り設定してください。

### ●DIP-1 スイッチ

番号	用途	設定内容
1	余剰/全量切替	ON
2	RS485 通信方式	ON
3	(DIP-1 の 1 番が OFF) 余剰：主幹 CT 切替	OFF
	(DIP-1 の 1 番が ON か つ、DIP-1 の 2 番が ON) 全量：最大接続台数	OFF:最大 5 台 ON:最大 10 台
4	個別/外部 CT	OFF
5	個別/外部切替	OFF
6	個別/外部電圧	OFF
7	予備 1	OFF
8	予備 2	OFF
9	予備 3	OFF
10	予備 4	OFF

### ●DIP-2 スイッチ

番号	用途	設定内容
1	SW2 再起動設定	OFF
2	LAN 設定 1	OFF
3	LAN 設定 2	ON
4	ユニット番号	OFF

## 電力検出ユニットを交換する(つづき)

### 7 モバイルパック PS を起動する(P.29)

### 8 設定用 PC と SV センサを LAN ケーブルで接続する (P.32)

### 9 設定用 PC の IP アドレスを設定する (P.32)

手順① (P.33) で設定する IP アドレスは、[192.168.9.200] で設定してください。

### 10 電力検出ユニットのネットワーク設定を変更する

①設定用 PC にてブラウザを開き、モニター画面を表示する。

モニタ画面 URL : <http://192.168.9.123/>

②電力検出ユニットのネットワーク設定を下記の通り設定してください。

IP アドレス設定	手動
IP アドレス	192.168.1.50
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.101
DNS サーバー設定	手動
優先 DNS	8.8.8.8
代替 DNS サーバー	8.8.4.4

### 11 電力検出ユニットを再起動する

### 12 設定用 PC の IP アドレスを設定する (P.32)

手順① (P.33) で設定する IP アドレスは、[192.168.1.200] で設定してください。

### 13 電力検出ユニットの設定をする (P.34)

### 14 設定用 PC の IP アドレスの設定を元に戻す(P.52)

以下の手順に従って、モバイルパック PS を取り外してください。

## 1 発電設備を停止する

モバイルパック PS を取り外す前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）が**オフ**にしてください※
- 太陽光発電用ブレーカを**オフ**にしてください※
- パワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください※
- モバイルパック PS 用主電源ブレーカを**オフ**にしてください

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

## 2 モバイルパック PS のサーキットプロテクタを OFF にする

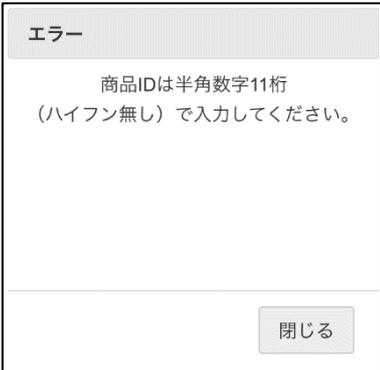
## 3 モバイルパック PS に接続されている配線を外す

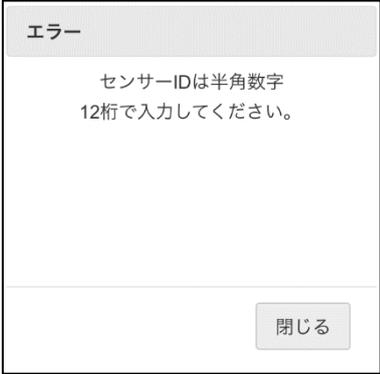
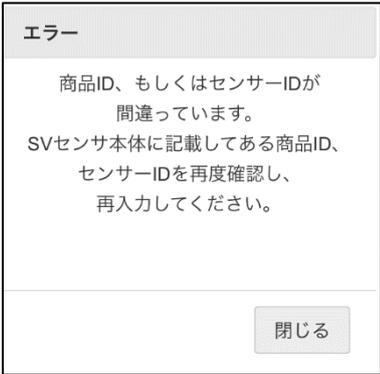
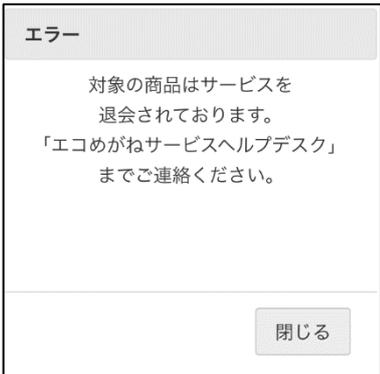
端子台にねじ止めされている電源配線、通信線、設置線等の配線を外してください。

## 4 モバイルパック PS 本体を、設置場所から取り外す

## 設定ツール画面 こんな時には？

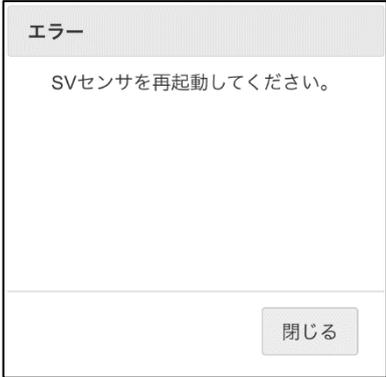
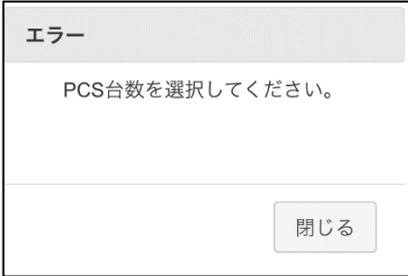
### ● SV センサ設定ツール (ブラウザ版)

No.	症状	対処方法
1	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品ID欄に商品IDが入力されておられません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、商品ID欄に商品ID（ハイフン無し11桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
2	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄にセンサーIDが入力されておられません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、センサーID欄にセンサーID（12桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
3	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品ID欄に入力された商品IDが11桁未満、もしくは、半角英数以外の入力があります。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、商品ID欄に商品ID（ハイフン無し11桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>

No.	症状	対処方法
4	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄に入力されたセンサーIDが12桁未満、もしくは、半角英数以外の入力がされております。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、センサーID欄にセンサーID（12桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
5	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品IDとセンサーIDの組み合わせが間違っている可能性があります。 SVセンサ本体に記載している商品ID、センサーIDを再度ご確認ください。 確認後、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻り、商品ID、センサーIDを入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
6	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>エコめがねサービスを退会されているため、SVセンサの設定を実施できません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下してログイン画面に戻ってください。ログイン画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>

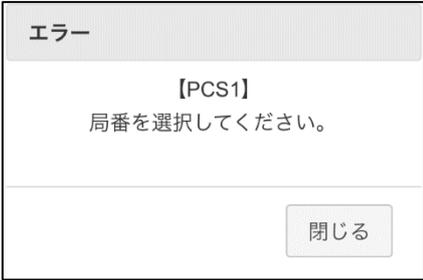
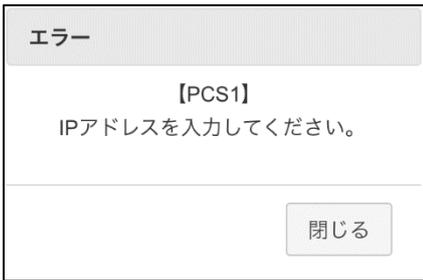
# 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

その他

No.	症状	対処方法
7	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>SVセンサに正常にアクセスできませんでした。 SVセンサの「RESET」ボタンを押下して、SVセンサを再起動してください。 SVセンサの再起動完了後、「閉じる」ボタンを押下してログイン画面に戻り、再度ログインしてください。</p> <p>ログイン時、何度も発生する場合は、画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>
8	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「PCS台数」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「PCS台数」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
9	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「PCSメーカー」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「PCSメーカー」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

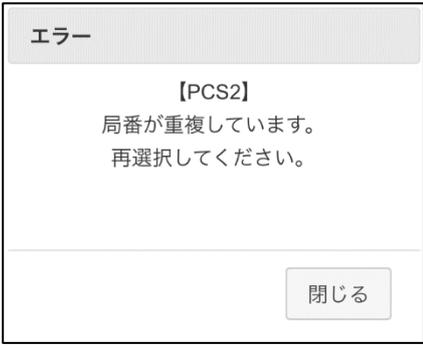
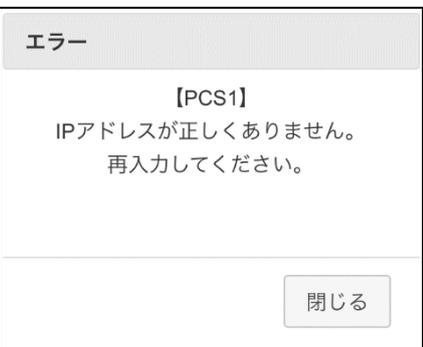
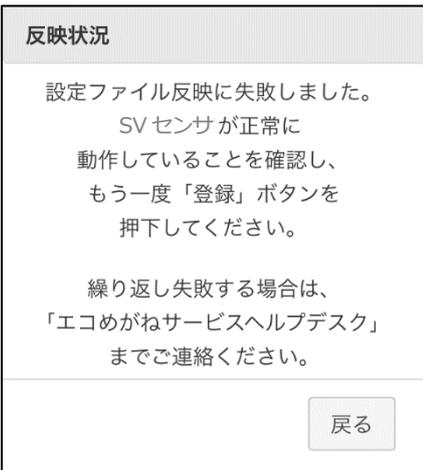
## 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

その他

No.	症状	対処方法
10	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「局番」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「局番」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
11	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「型式」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「型式」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
12	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「IPアドレス」が未入力です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「IPアドレス」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

# 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

その他

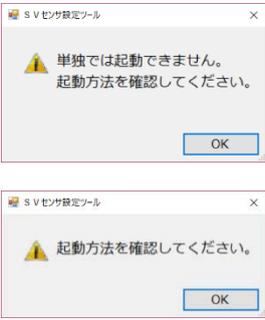
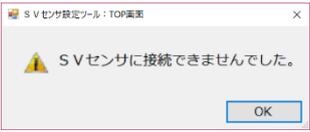
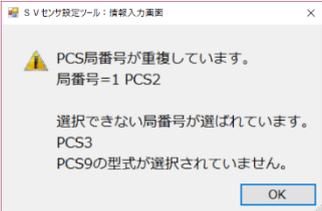
No.	症状	対処方法
13	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「局番」が重複しています。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。「局番」を重複しないように選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
14	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「IPアドレス」が半角英数入力ではない、もしくは、正しく入力されておりません。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。正しい「IPアドレス」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
15	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>SVセンサの通信機能が正常に動作していない可能性があります。SVセンサのLTEランプ状態を確認してください。正常に動作している場合は、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻り、再度「登録」ボタンを押下してください。</p> <p>何度も発生する場合は、画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>

## 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

その他

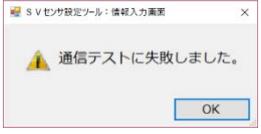
No.	症状	対処方法
16	通信テストにて、<SVセンサ-サーバ間通信テスト>の結果が「NG」となる。	SVセンサのLEDランプ状態を確認してください。 正常に動作している場合は、再度「通信テスト実行」ボタンを押下してください。
17	通信テストにて、<SVセンサ-PCS間通信テスト>の状態が「異常」、「空欄」もしくは「-」となる。	通信ケーブルが正しく配線・接続されているか確認してください。また、SVセンサの設定内容（接続台数・PCSメーカー・型式・局番・IPアドレス）を確認してください。 通信ケーブルが正しく配線されており、SVセンサの設定に誤りがない場合は、再度「通信テスト実行」ボタンを押下してください。
18	誤ったPCS情報を設定してしまった。	【通信テスト画面の場合】 「戻る」ボタンを押下してPCS情報登録画面に戻り、正しい情報を登録し直してください。  【ログアウト済みの場合】 P.53 「設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)の場合～」の通り、PCS情報を編集して、正しい情報を登録し直してください。

## ● SV センサ設定ツール (ソフトウェア版)

No.	症状	対処方法
1		<p>誤って、「SV_SensorSettingTool.exe」を起動した場合に表示されます。 OK を押した後、「S V センサ設定ツール(4G).exe」をダブルクリックして起動してください。</p>
2		<p>設定ツールを二重に起動しようとした場合に表示されます。 OK ボタンを押して、すでに起動している設定ツールを使用してください。</p>
3		<p>「OK」ボタン押下後、再度、「接続」ボタンを押下してください。 繰り返し表示される場合は、一旦設定ツールを終了し、設定 PC の LAN ケーブルを抜き差ししてから、設定ツールを再度起動してください。</p>
4		<p>設定ツール操作中に表示されるポップアップボックスで「中断」を押下した場合に表示されます。 設定を進める場合は「いいえ」を押下してください。</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下してください。</p>
5		<p>局番に使用できない番号を選択したり、重複、型式が未選択の場合に表示されます。 「OK」ボタンを押下後、正しく設定作業を行ってください。</p>
6		<p>PCS 台数、メーカー、局番、型式の登録作業に失敗したときに表示されます。 一旦設定ツールを終了し、再起動してから登録作業をやり直してください。</p>

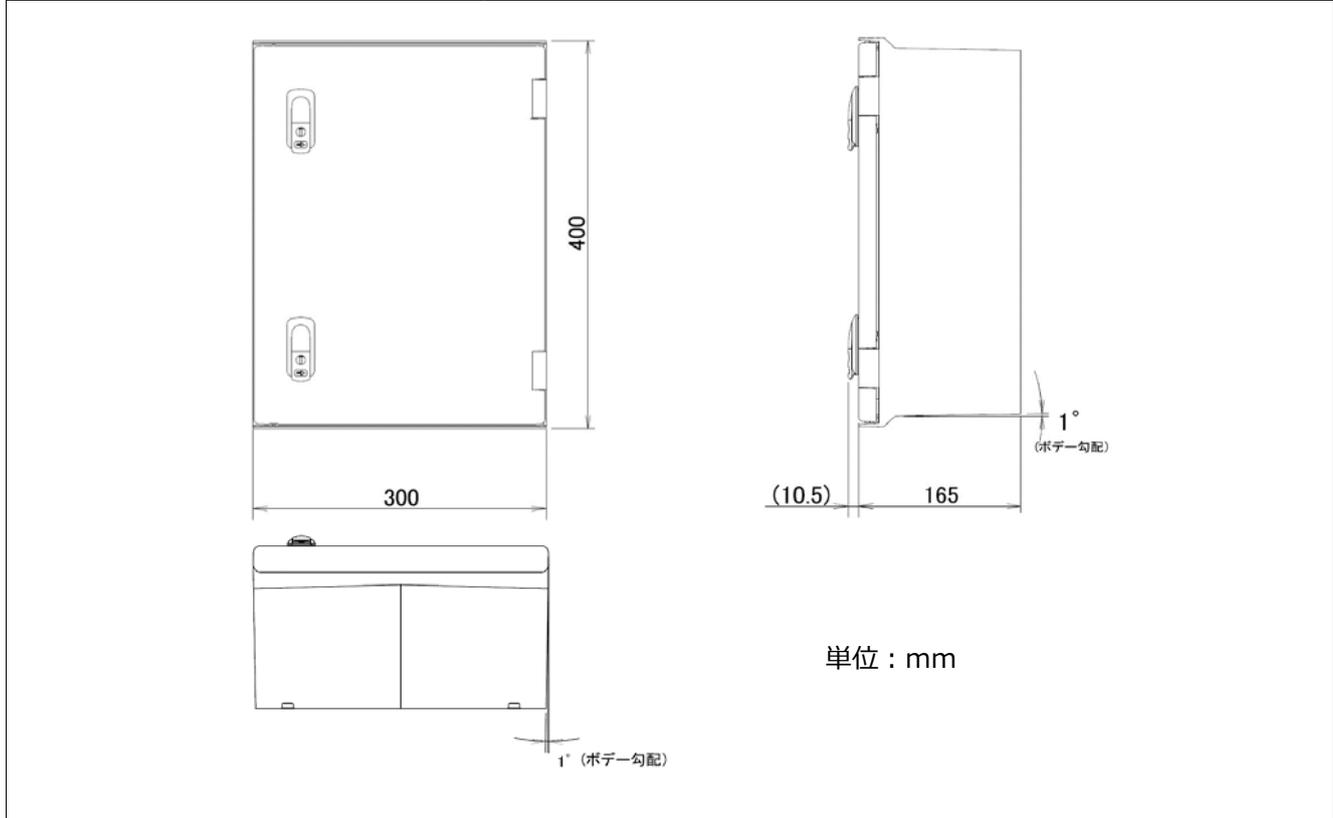
# 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

その他

No.	症状	対処方法
7	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>SV センサの設定登録中、データ送信テスト実行中、FW 更新実行中、再起動実施中に表示されるポップアップ画面で「中断」を押した場合に表示されます。設定を続ける場合は「いいえ」を押下してください。中断される場合は「はい」を押下してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下し、再度設定登録を行ってください。 「中断」を押下していない場合に、表示される場合は設定PCのファイアウォールの設定を変更する必要があります。「SV センサ設定ツールインストールマニュアル」を参照して、設定用PCのファイアウォール設定を行ってください。</p>
8	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>データ送信テスト実行中に表示されるポップアップ画面で「中断」を押した場合に表示されます。設定を続ける場合は「いいえ」を押下してください。中断される場合は「はい」を押下してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下し、再度データ送信テストを実施してください。</p>
9	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>FW 更新実行中、再起動実施中に表示されるポップアップ画面で「中断」を押した場合に表示されます。設定を続ける場合は「いいえ」を押下してください。中断される場合は「はい」を押下してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下し、はじめからFW アップデートをやり直してください。</p>
10		<p>FW アップデート実施時に、現在動作中のバージョンより、古いバージョンファイルを選択した場合に表示されます。 「OK」を押下して、FW アップデート作業を中止してください。 最新のFWは、「エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページ」から入手してください。 <a href="https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/">https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/</a></p>

## 仕様について

項目	仕様	
■ 型式	ZMPPS	
■ 出力制御装置型式	パナソニック株式会社製 VBPW276	
■ 使用周囲温度	-10 ~ +50 °C (ただし結露または氷結しないこと)	
■ 保存温度	-10 ~ +60 °C (ただし結露または氷結しないこと)	
■ 使用周囲湿度	相対湿度 20 ~ 85 % (ただし結露しないこと)	
■ 保存湿度	相対湿度 20 ~ 85 % (ただし結露しないこと)	
■ 電源	単相 3線式 AC100V	
■ 消費電力 [W]	電源ユニット	最大 6.5W
	電力検出ユニット	最大 3W
	合計	最大 9.5W
■ 入力容量 [VA]	電源ユニット	最大 13.1VA
	電力検出ユニット	最大 5VA
	合計	最大 18.1VA
■ 保護構造	IP65 相当 ※施工状態によって、IP 等級は変化します。	
■ 質量	6.0kg 以下	
■ 外形寸法	突起部除く 幅 300×奥行 165×高さ 400 mm (突起部含む 幅 300×奥行 175.5×高さ 400 mm)	





## 販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する  
ご質問・ご相談は...

エコめがね  
サービス  
ヘルプデスク

06-6221-0222

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年未年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

電力検出ユニットについて製造メーカー様（パナソニック社）へお問合せいただく際は  
必ず電力検出ユニットの型式（VBPW276）をお申し出いただくようお願い致します。